

住民を対象としたTFPの実施

栗生線沿線の住民を対象として、2回のアンケート調査によるTFPを実施した。

(1) 調査概要

ア 目的

平成21年11月に、神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄、兵庫県等が「神戸電鉄栗生線活性化協議会」を立ち上げ、利用者の増加を目指して沿線のイベントとも連携しながら様々な取り組みを実施してきたが、依然として利用者の減少が続いている。

「栗生線」を未来に残すためには、鉄道事業者や行政の努力に加え、沿線にお住まいの一人おひとりにも協力いただく（「栗生線」に乗っていただく）ことが必要である。

そこで、「栗生線」の利用促進を目的として、栗生線沿線（神戸市・三木市・小野市）の住民の方を対象にアンケート調査票と栗生線に関する小冊子を配布し、栗生線に対する意識や栗生線を使った行動の特徴などを答えて頂くと共に、栗生線を使ったライフスタイルを実行できるかについても考えて頂くためのTFPを実施した。

イ 調査の流れ

調査は以下の2段階で実施した。

(ア) 第1ステップ：コミュニケーションアンケート

コミュニケーションアンケート調査を沿線10,000世帯に各2通同封し郵送配布・回収する。栗生線利用が見込まれる駅勢力圏半径1kmから世帯を抽出する。

＜配布物＞

- ・ 依頼状・コミュニケーションアンケート調査票（A3両面）
- ・ 返信用封筒
- ・ 動機付け冊子（B5版8頁）

(イ) 第2ステップ：効果検証アンケート

第1ステップの回答者を対象として、効果計測アンケートを実施し、TFP実施駅の利用の推移を比較分析する。効果計測アンケートでは、効果があった行動目的、属性の分析も合わせて実施する

＜配布物＞

- ・ 効果検証アンケート調査票（A4両面）
- ・ 返信用封筒

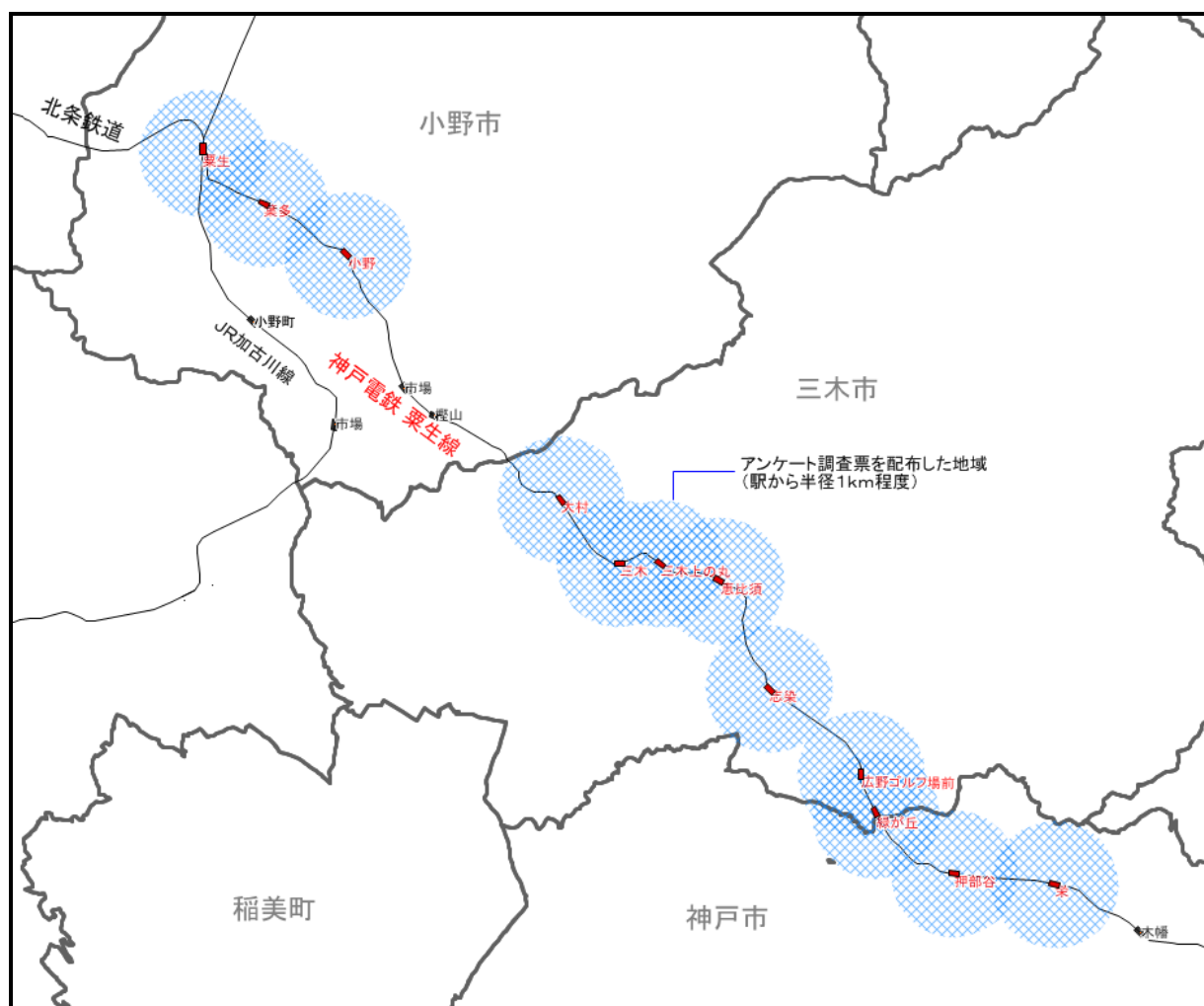
ア 調査対象地域及び調査方法

以下に示す地域の方を対象に、アンケート調査票の配布を行った。

- ①栗生線沿線（神戸市・三木市・小野市）の住民を対象。
- ②栗生線利用が見込まれる駅勢力圏半径 1km から世帯を抽出。
- ③沿線 10,000 世帯に各調査票を 2 枚同封し郵送配布・回収。

アンケート調査票の配布及び回収は、以下の日程で行った。

- ・アンケート発送日：平成23年9月9日（金）
- ・アンケート締切日：平成23年9月30日（金）



▲ 調査対象地域

イ 配布枚数及び回収枚数

三木市・小野市・神戸市の 10,000 世帯に発送した調査票のうち、2,878 世帯から回答を頂いた。

なお、発送時には 1 世帯につき 2 枚の調査票を送付した。世帯によって複数の回答があったため、調査票の回収枚数は 3,934 枚となった。

▼ 調査票の回収状況

地域	①発送数	②封筒回収数	③回収率 (=②÷①)	④調査票枚数
三木市	4,552 世帯	1,408 世帯	30.9%	1,942 枚
小野市	2,073 世帯	549 世帯	26.5%	718 枚
神戸市	3,375 世帯	900 世帯	26.7%	1,245 枚
不明	—	21 世帯	—	29 枚
合計	10,000 世帯	2,878 世帯	28.8%	3,934 枚

問5 「粟生線」を利用しやすくするためには、どのような取組が必要だと思いますか？
また、現状で「粟生線」を利用しにくい理由があれば、ご自由にお書きください。

問6 あなたご自身のことについてお聞きます。

性別	☐ 男性 ☐ 女性
年齢	☐ 10歳代 ☐ 20歳代 ☐ 30歳代 ☐ 40歳代 ☐ 50歳代 ☐ 60歳代 ☐ 70歳以上
職業	☐ 会社員など(自宅以外で就労している) ☐ 学生 ☐ 自営業など(自宅で就労している) ☐ 主婦・主夫 ☐ その他

※ 勤務地または通学先の町名をご記入ください。

後日もう一度簡単な(今回の半分程度です)アンケート調査を企画しています。
是非、次回のアンケート調査にもご協力ください。

● 送付先のお名前、ご住所をご記入ください。

お名前	
ご住所	※ 宛先にお届けするために番地名、アパート・マンション(建物名)まで正確にご記入ください。 〒□□□-□□□□

ご協力ありがとうございました。封筒に入れてご返送ください。

神戸電鉄粟生線と私たちの日常生活を考えるアンケート調査

今、神戸電鉄粟生線の存続が危ぶまれています。

平成21年11月に、神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄、兵庫県等が「神戸電鉄粟生線活性化協議会」を立ち上げ、利用者の増加を目指して沿線のイベントとも連携しながら様々な取り組みを実施してきましたが、依然として利用者の減少が続いています。

このままでは「粟生線」がなくなる日も現実のものとなるかもしれません。そうなれば、クルマを運転できないお年寄りや学生の「交通手段」が失われるだけでなく、渋滞の悪化や地価の低下など、あなたの生活にも影響がでます。

しかしながら、利用者が少ない鉄道を残すために、鉄道事業者・行政の努力だけでは限界があります。ですから、「粟生線」を残すためには、沿線にお住まいの**お一人おひとりに**、少しずつ継続的に「粟生線」に乗っていただくことが必要なのです。

このアンケートは、もはや地域の皆様にとって身近な存在ではなくなってしまったかも知れない「粟生線」について、もう一度、私たちと一緒に考えていただくために企画したものです。

ぜひとも、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成23年9月

神戸電鉄粟生線活性化協議会
会長 三木市理事 北井信一郎

ご回答にあたってのお願い

- アンケートは2部同封しています。
- **地域を良くしたい**とお考えの旨は是非ご回答ください。
- **5分程度**で回答可能です。
- ご回答後は同封の返信用封筒に入れて**9月30日(金)まで**にご返送ください。
- 公表にあたっては、すべて統計的に処理しますので、個人の情報は一切公表いたしません。

■ 貴問等は、下記までお問い合わせください。

神戸市 企画調整局企画調整部調整課	(担当: 福田、古川)	TEL 078-322-5039
三木市 まちづくり部美しいまちづくり課	(担当: 中西、木島)	TEL 0794-82-2000
小野市 総合政策部交通政策グループ	(担当: 上田)	TEL 0794-63-1000
神戸電鉄株式会社 鉄道事業本部企画部	(担当: 前田)	TEL 078-592-2221
兵庫県 県土整備部県土企画局交通政策課	(担当: 木下)	TEL 078-341-7711

■ 神戸電鉄粟生線活性化協議会は、神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄、兵庫県、国、沿線住民代表、学識経験者で構成されています。

詳しくは...

神戸電鉄粟生線活性化協議会

校章

※あてはまる口に ✓ を、_____には数字を、()には文章をご記入ください。

問1 あなたご自身の日頃の移動についてお聞きします。

● 下記①～⑤それぞれの交通手段をどのくらい使っていますか？

※“0回”の手段については、空欄で結構です。(記入例) ☒週に □月に 3 回程度

①「クルマ」を使った外出が	☐ 週に □月に _____ 回程度
②「バス」を使った外出が	☐ 週に □月に _____ 回程度
③「神鉄」を使った外出が	☐ 週に □月に _____ 回程度
④「地下鉄」を使った外出が	☐ 週に □月に _____ 回程度
⑤「その他の鉄道」を使った外出が	☐ 週に □月に _____ 回程度

● ご自宅の最寄りの神戸電鉄粟生線の駅名をご存じですか？

- ☐ 知っている (駅名 _____) 駅
☐ 知らない

● ご自宅からその最寄り駅まで徒歩何分くらいですか？

約 _____ 分



問2 同封の小冊子「粟生線がなくなる日?」をご一読ください。

できるだけご家族やお近くの方と一緒に考えください。

小冊子の情報はいかがでしたか？	全く関心なし ☐ あまり関心なし ☐ 少し関心あり ☐ とても関心がある ☐
このままでは「粟生線がなくなる日」が来るかもしれないことをご存知でしたか？	☐ 知っていた ☐ 知ってはいたが、実感はなかった ☐ 全く、知らなかった
あなた自身は、「粟生線」が必要だと思いますか？	強く不要 ☐ 不要 ☐ 必要 ☐ 強く必要 ☐
あなたの家族や、地域にとって、「粟生線」が必要だと思いますか？	強く不要 ☐ 不要 ☐ 必要 ☐ 強く必要 ☐

● 少し無理をしても、「粟生線」を今よりも利用してみるのもいいかもしれませんと思いますか？

- ☐ 絶対に、思わない
☐ 少しなら、そう思う
☐ そう思う
☐ とても強く、そう思う

問3 「粟生線」を利用する方法には、いろいろなものが考えられます。

以下のそれぞれについて、考えてみてください

● 平日の通勤・通学で「粟生線」を利用することは可能ですか？

- ☐ 既に利用している → もっと利用できそうですか？ ☐ 週に □月に _____ 回程度なら可能
☐ 利用できる → どの程度利用できそうですか？ ☐ 週に □月に _____ 回程度なら可能
☐ 利用することはできない
☐ 通勤(登校)していない



クルマより時間がかかる場合もあるかもしれませんが、粟生線に乗って読書をしたり、電車での移動を楽しんでみませんか？

● 平日の外出(買物・通院など)で「粟生線」を利用することは可能ですか？

- ☐ 既に利用している → もっと利用できそうですか？ ☐ 週に □月に _____ 回程度なら可能
☐ 利用できる → どの程度利用できそうですか？ ☐ 週に □月に _____ 回程度なら可能
☐ 利用することはできない
☐ 平日に外出をしない
☐ 平日に粟生線を利用して外出する目的がない



粟生線に乗って普段行かないお店を見つけてみませんか？

● 休日の外出(レジャーなど)で「粟生線」を利用することは可能ですか？

- ☐ 既に利用している → もっと利用できそうですか？ ☐ 週に □月に _____ 回程度なら可能
☐ 利用できる → どの程度利用できそうですか？ ☐ 週に □月に _____ 回程度なら可能
☐ 利用することはできない
☐ 休日に外出をしない
☐ 休日に粟生線を利用して外出する目的がない



休日は粟生線に乗って、グルメの店に出かけてみませんか？



「乗って帰ろう未来の粟生線おでかけガイド」は神戸電鉄各駅にて配布しています。

問4 今後、「粟生線」を利用できそうなおでかけについて、

具体的に考えてみてください。

● どういう時に「粟生線」を利用できそうですか？出来るだけ具体的に記入してください。

例：休日には友達を誘って、粟生線沿線にハイキングにでかける。
 例：給料日の次の金曜は、粟生線で通勤して職場の同僚と飲みに行く。

● 具体的にどのように実践するか、記入例に習って記入してください。

記入例



裏面に続きます→

エ 集計結果

第1回アンケート調査の各設問とその調査結果は以下の通りである。

(1) 日頃の移動の特徴

① 交通手段

〔設問〕

問1 あなたご自身の日頃の移動についてお聞きします。

● 下記①～⑤それぞれの交通手段をどのくらい使っていますか？

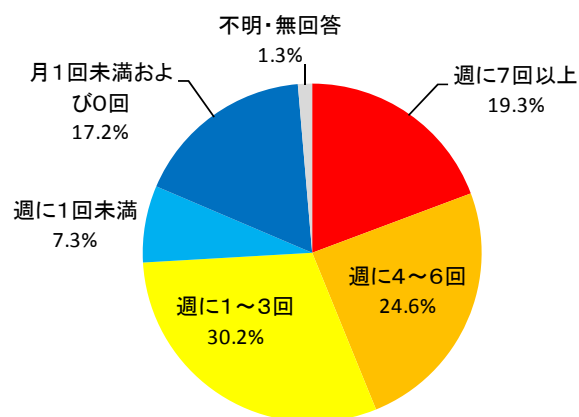
※ “0回”の手段については、空欄で結構です。（記入例） ☒ 週に ☐ 月に 3 回程度

① 「クルマ」を使った外出が	☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度
② 「バス」を使った外出が	☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度
③ 「神鉄」を使った外出が	☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度
④ 「地下鉄」を使った外出が	☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度
⑤ 「その他の鉄道」を使った外出が	☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度

〔結果：クルマでの外出回数（回答数＝3,934件）〕

- 「週に1～3回」が1189件で30.2%と最も多く、次いで「週に4～6回」が966件で24.6%、さらに「週に7回以上」が759件で19.3%と続いています。

「クルマ」を使った外出の回数

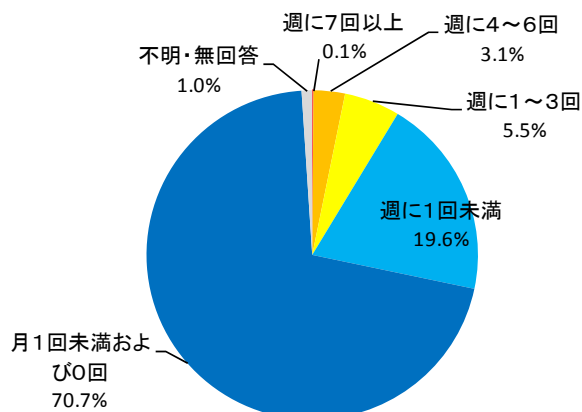


週に7回以上	759件	19.3%
週に4～6回	966件	24.6%
週に1～3回	1189件	30.2%
週に1回未満	289件	7.3%
月1回未満および0回	678件	17.2%
不明・無回答	53件	1.3%
合 計	3934件	100.0%

〔結果：バスでの外出回数（回答数＝3,934 件）〕

- 「月 1 回未満および 0 回」が 2780 件で 70.7%と最も多く、次いで「週に 1 回未満」が 772 件で 19.6%、さらに「週に 1～3 回」が 215 件で 5.5%と続いています。

「バス」を使った外出の回数

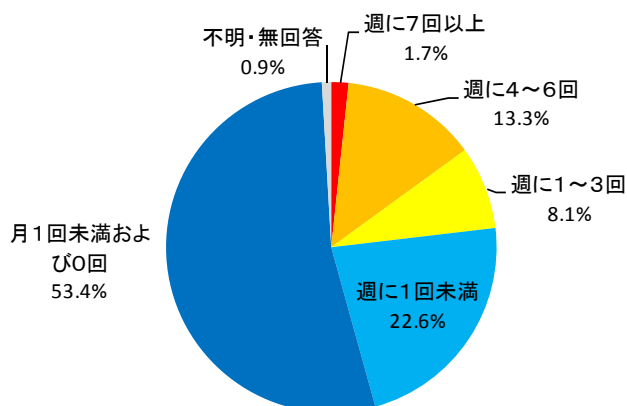


週に7回以上	5件	0.1%
週に4～6回	121件	3.1%
週に1～3回	215件	5.5%
週に1回未満	772件	19.6%
月1回未満および0回	2780件	70.7%
不明・無回答	41件	1.0%
合 計	3934件	100.0%

〔結果：神鉄での外出回数（回答数＝3,934 件）〕

- 「月 1 回未満および 0 回」が 2100 件で 53.4%と最も多く、次いで「週に 1 回未満」が 888 件で 22.6%、さらに「週に 4～6 回」が 524 件で 13.3%と続いています。

「神鉄」を使った外出の回数

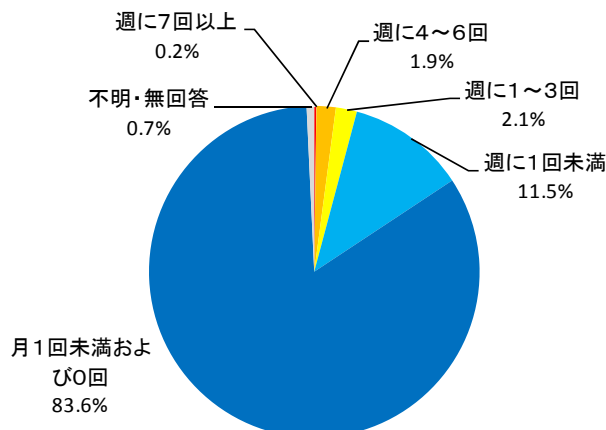


週に7回以上	66件	1.7%
週に4～6回	524件	13.3%
週に1～3回	320件	8.1%
週に1回未満	888件	22.6%
月1回未満および0回	2100件	53.4%
不明・無回答	36件	0.9%
合 計	3934件	100.0%

〔結果：地下鉄での外出回数（回答数＝3,934 件）〕

- 「月 1 回未満および 0 回」が 3288 件で 83.6%と最も多く、次いで「週に 1 回未満」が 454 件で 11.5%、さらに「週に 1～3 回」が 81 件で 2.1%と続いています。

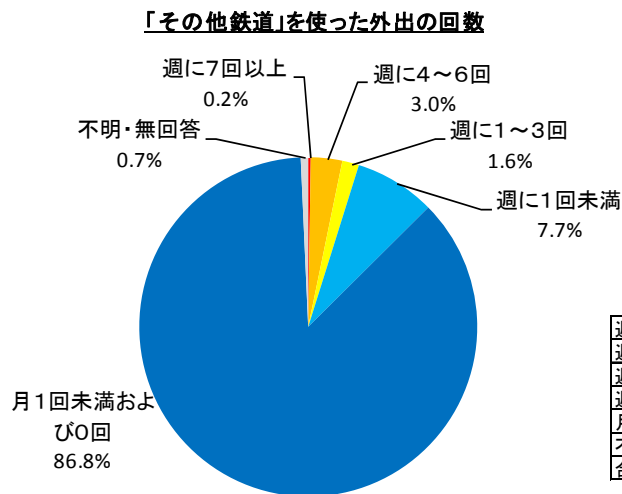
「地下鉄」を使った外出の回数



週に7回以上	8件	0.2%
週に4～6回	74件	1.9%
週に1～3回	81件	2.1%
週に1回未満	454件	11.5%
月1回未満および0回	3288件	83.6%
不明・無回答	29件	0.7%
合 計	3934件	100.0%

〔結果：その他の鉄道での外出回数（回答数＝3,934 件）〕

- 「月 1 回未満および 0 回」が 3413 件で 86.8%と最も多く、次いで「週に 1 回未満」が 303 件で 7.7%、さらに「週に 4～6 回」が 118 件で 3.0%と続いています。



週に7回以上	9件	0.2%
週に4～6回	118件	3.0%
週に1～3回	63件	1.6%
週に1回未満	303件	7.7%
月1回未満および0回	3413件	86.8%
不明・無回答	28件	0.7%
合 計	3934件	100.0%

②最寄り駅名

〔設問〕

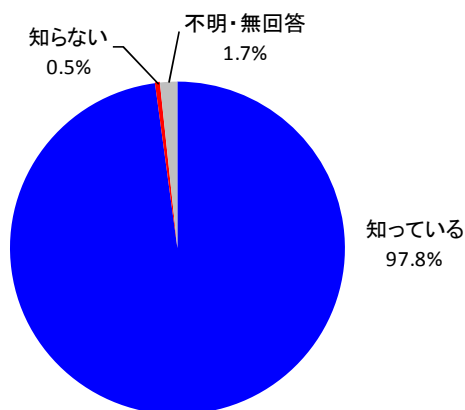
● ご自宅の最寄りの神戸電鉄粟生線の駅名をご存じですか？

- ☐ 知っている（駅名 _____）駅
- ☐ 知らない

〔結果（回答数＝3,934 件）〕

- 最寄り駅名は、「知っている」が 3849 件で 97.8%、「知らない」が 19 件で 0.5%となっています。

自宅最寄りの粟生線の駅名の周知度



知っている	3849件	97.8%
知らない	19件	0.5%
不明・無回答	66件	1.7%
合 計	3934件	100.0%

〔設問〕

約_____分

- 「～10分」が1422件で36.9%と最も多く、次いで「～15分」が1076件で28.0%、さらに「～5分」が893件で23.2%と続いています。

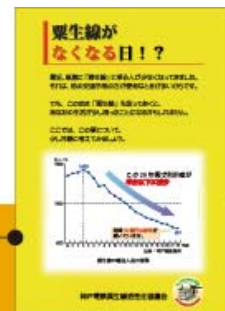
A pie chart illustrating the distribution of responses for 'Q1: How many times did you use the service in the past 3 months?'. The chart is divided into five segments: '不明・無回答' (1.6%, orange), '~5分' (23.2%, blue), '~10分' (36.9%, red), '~15分' (28.0%, green), and '~20分' (8.3%, purple). A small segment labeled 'それ以上' (2.0%) is also present, which is not explicitly represented in the pie slices but is listed in the data table.

利用回数	割合
不明・無回答	1.6%
~5分	23.2%
~10分	36.9%
~15分	28.0%
~20分	8.3%
それ以上	2.0%

～5分	893件	23.2%
～10分	1422件	36.9%
～15分	1076件	28.0%
～20分	319件	8.3%
それ以上	76件	2.0%
不明・無回答	63件	1.6%
合 計	3849件	100.0%

〔設問〕

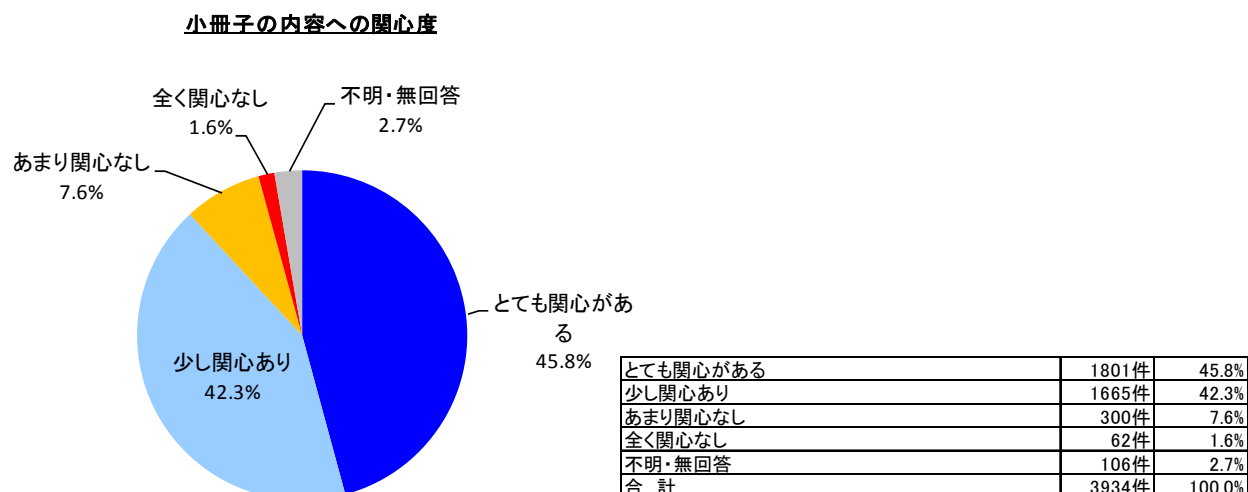
できるだけご家族やお近くの方と一緒にお願いします。



小冊子の情報はいかがでしたか？	全く関心なし あまり関心なし 少し関心あり とても関心がある ☐ ☐ ☐ ☐
このままでは「粟生線がなくなる日」が来る かもしれないことをご存知でしたか？	☐ 知っていた ☐ 知ってはいたが、実感はなかった ☐ 全く、知らなかった
あなた自身は、「粟生線」が必要だと思いますか？	強く不要 不要 必要 強く必要 ☐ ☐ ☐ ☐
あなたの家族や、地域にとって、 「粟生線」が必要だと思いますか？	強く不要 不要 必要 強く必要 ☐ ☐ ☐ ☐

〔結果：小冊子の内容への関心（回答数＝3,934件）〕

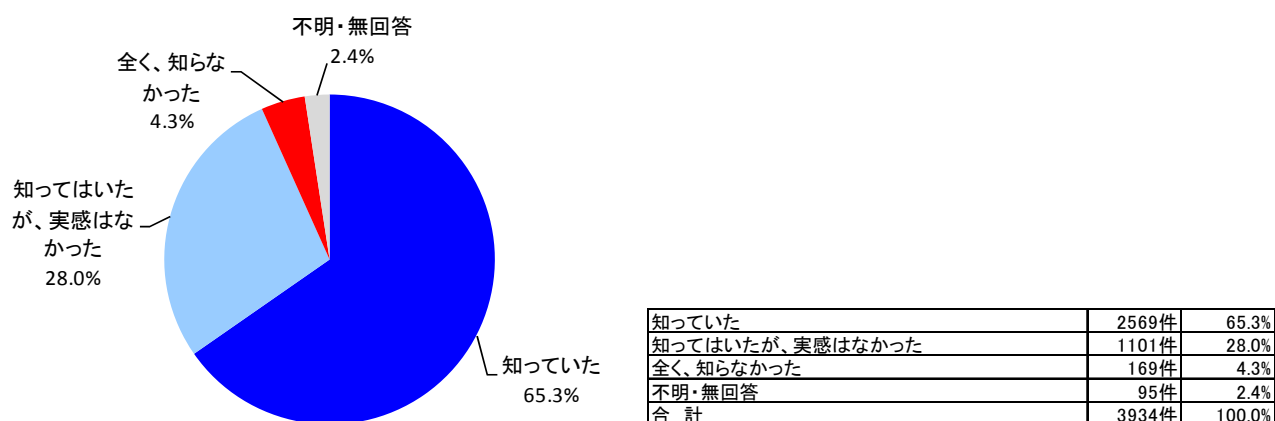
- 「とても関心がある」が1801件で45.8%と最も多く、次いで「少し関心あり」が1665件で42.3%、さらに「あまり関心なし」が300件で7.6%と続いています。



〔結果：「粟生線がなくなる日」の認知度（回答数＝3,934件）〕

- 「知っていた」が2569件で65.3%と最も多く、次いで「知ってはいたが、実感はなかった」が1101件で28.0%、「全く、知らなかった」が169件で4.3%と続いています。

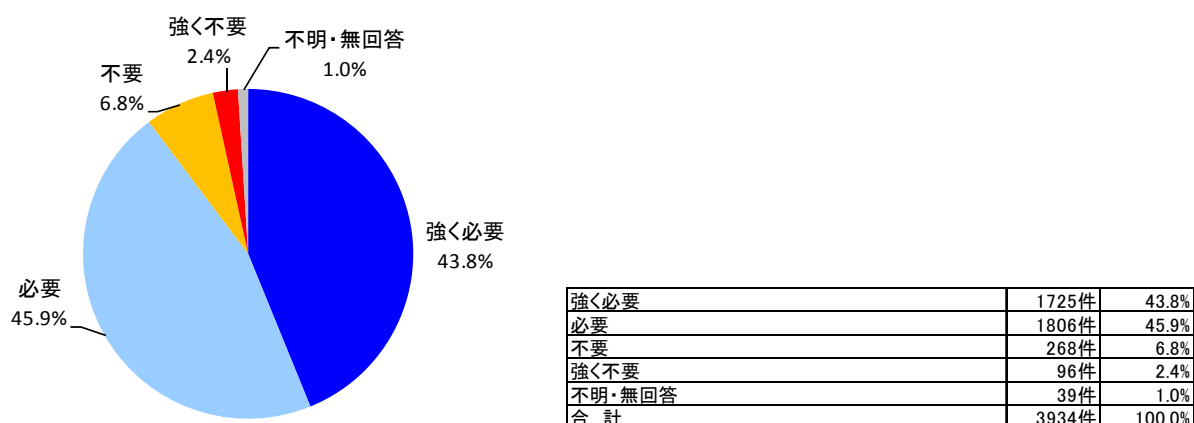
「粟生線がなくなる日」が来るかもしれないことの認知度



〔結果：回答者自身にとっての粟生線の必要性（回答数＝3,934件）〕

- 「必要」が1806件で45.9%と最も多く、次いで「強く必要」が1725件で43.8%、さらに「不要」が268件で6.8%と続いています。

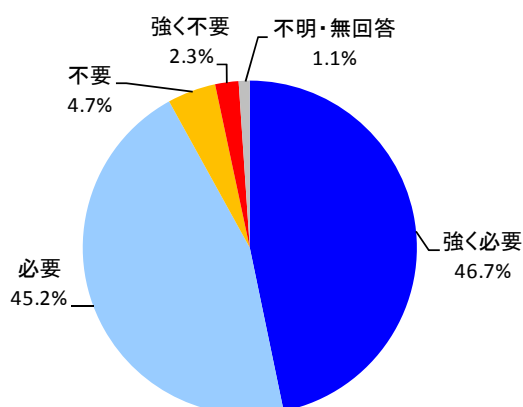
回答者自身の粟生線の必要性



〔結果：家族や地域にとっての粟生線の必要性（回答数＝3,934 件）〕

- 「強く必要」が 1839 件で 46.7%と最も多く、次いで「必要」が 1779 件で 45.2%、さらに「不要」が 185 件で 4.7%と続いています。

家族や地域にとっての粟生線の必要性



強く必要	1839件	46.7%
必要	1779件	45.2%
不要	185件	4.7%
強く不要	89件	2.3%
不明・無回答	42件	1.1%
合 計	3934件	100.0%

②粟生線を利用することについての思い

〔設問〕

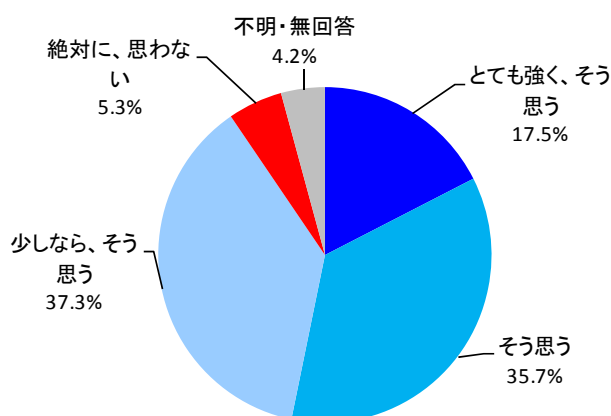
- 少し無理をしても、「粟生線」を今よりも利用してみるのもいいかと思いますが？

- ☐ 絶対に、思わない
- ☐ 少しなら、そう思う
- ☐ そう思う
- ☐ とても強く、そう思う

〔結果（回答数＝3,934 件）〕

- 「少しなら、そう思う」が 1467 件で 37.3%と最も多く、次いで「そう思う」が 1406 件で 35.7%、さらに「とても強く、そう思う」が 687 件で 17.5%と続いています。

少し無理をしても、粟生線を利用することについて



とても強く、そう思う	687件	17.5%
そう思う	1406件	35.7%
少しなら、そう思う	1467件	37.3%
絶対に、思わない	208件	5.3%
不明・無回答	166件	4.2%
合 計	3934件	100.0%

(3) 今後の粟生線の利用意向

①平日の通勤・通学時の利用意向

〔設問〕

問3 「粟生線」を利用する方法には、いろいろなものが考えられます。
以下のそれぞれについて、考えてみてください

● 平日の通勤・通学で「粟生線」を利用することは可能ですか？

☐ 既に利用している →もっと利用できそうですか？☐ 週に☐ 月に 回程度なら可能

☐ 利用できる →どの程度利用できそうですか？☐ 週に☐ 月に 回程度なら可能

☐ 利用することはできない

☐ 通勤(登校)していない

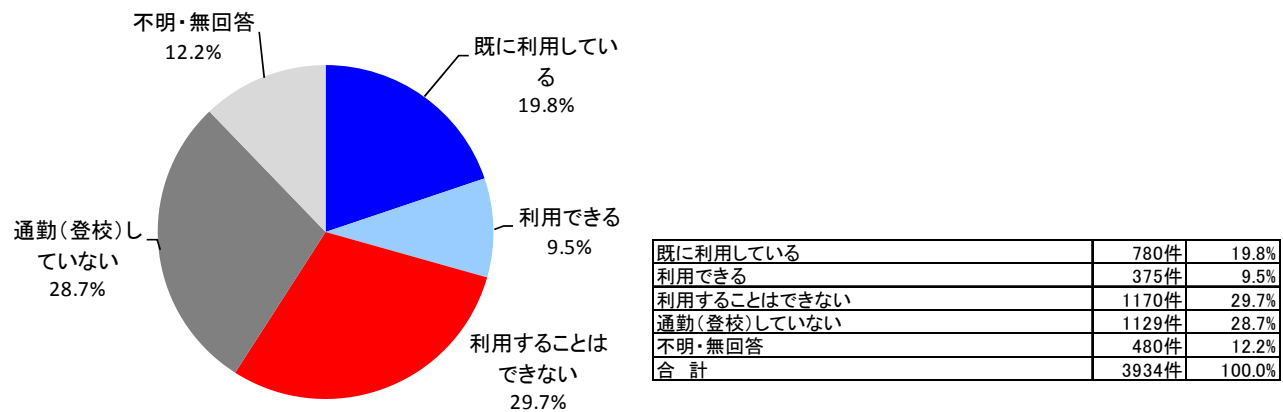


クルマよりも時間がかかる場合もあるかもしれませんが、
粟生線に乗って読書をしたり、電車での移動を楽しんでみませんか？

〔結果：利用の可能性（回答数＝3,934 件）〕

- 「利用することはできない」が 1170 件で 29.7%と最も多く、次いで「通勤（登校）していない」が 1129 件で 28.7%、さらに「既に利用している」が 780 件で 19.8%と続いています。

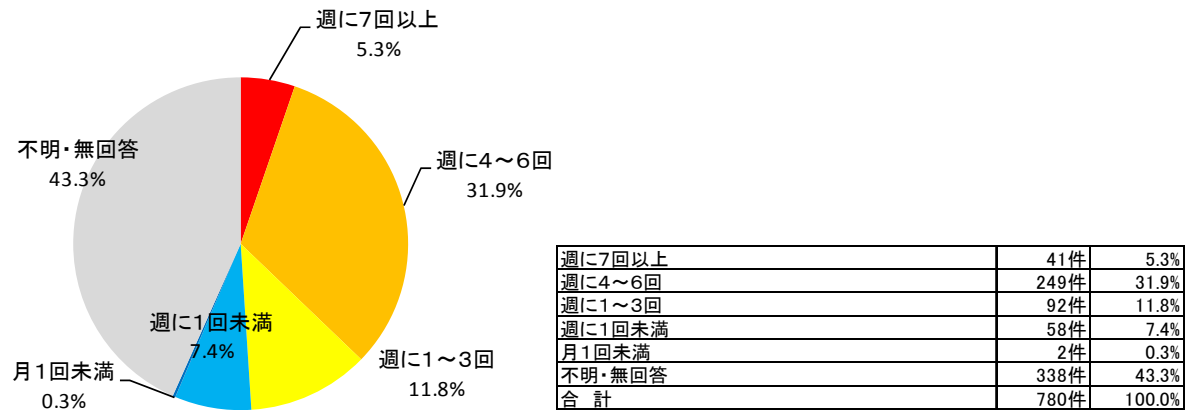
平日の通勤・通学時における粟生線利用の可能性



〔結果：利用可能な回数（既に利用している方のみ）（回答数＝780 件）〕

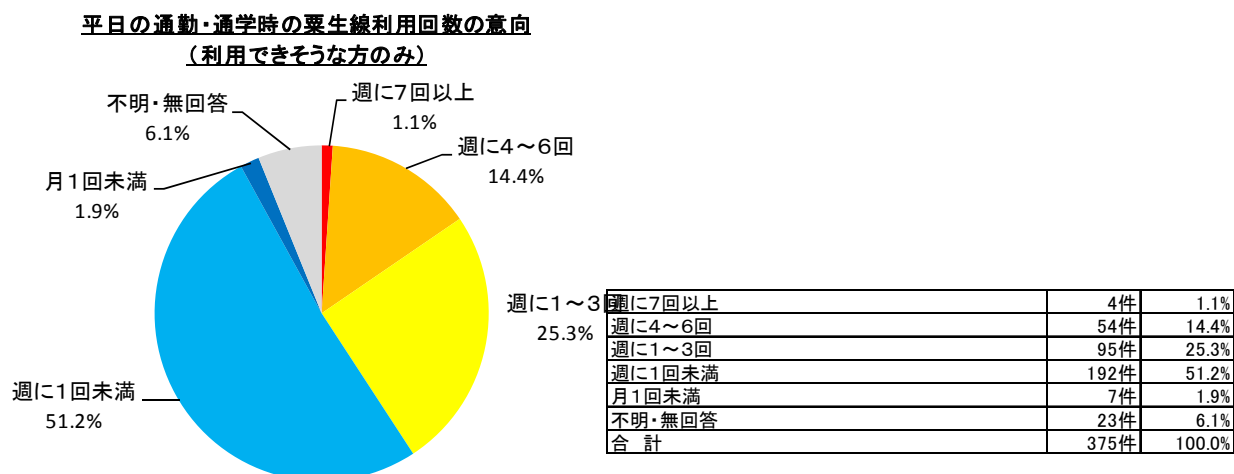
- 「週に 4～6 回」が 249 件で 31.9%と最も多く、次いで「週に 1～3 回」が 92 件で 11.8%、さらに「週に 1 回未満」が 58 件で 7.4%と続いています。

平日の通勤・通学時の粟生線利用回数の意向
（既に利用している方のみ）



〔結果：利用可能な回数（利用できそうな方のみ）（回答数＝375 件）〕

- 「週に1回未満」が192件で51.2%と最も多く、次いで「週に1～3回」が95件で25.3%、さらに週に4～6回」が54件で14.4%と続いています。



②平日の外出（買物・通院など）時の利用意向

〔設問〕

● 平日の外出(買物・通院など)で「粟生線」を利用することは可能ですか?

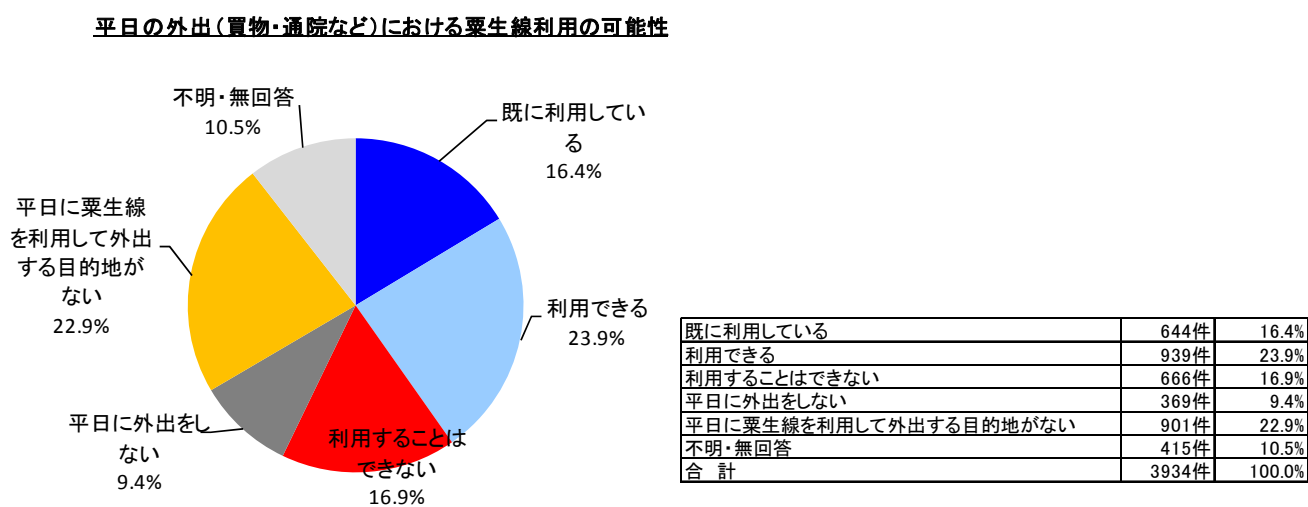
- ☐ 既に利用している →もっと利用できそうですか? ☐ 週に 月に 回程度なら可能
- ☐ 利用できる →どの程度利用できそうですか? ☐ 週に 月に 回程度なら可能
- ☐ 利用することはできない
- ☐ 平日に外出をしない
- ☐ 平日に粟生線を利用して外出する目的がない



粟生線に乗って普段行かないお店を見つけてみませんか?

〔結果：利用の可能性（回答数＝3,934 件）〕

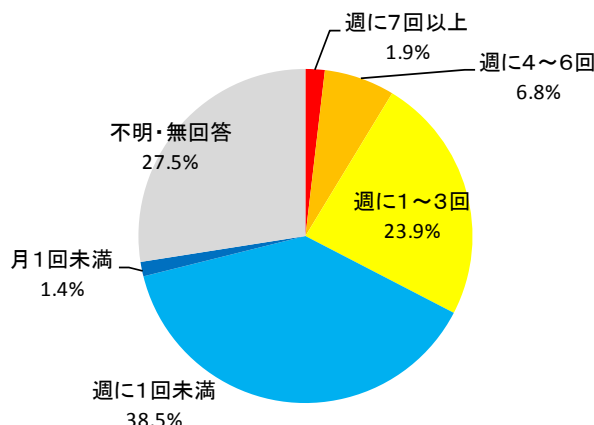
- 「利用できる」が939件で23.9%と最も多く、次いで「平日に粟生線を利用して外出する目的がない」が901件で22.9%、さらに「利用することはできない」が666件で16.9%と続いています。



〔結果：利用可能な回数（既に利用している方のみ）（回答数＝644 件）〕

- 「週に1回未満」が248件で38.5%と最も多く、次いで「週に1～3回」が154件で23.9%、さらに「週に4～6回」が44件で6.8%と続いています。

平日の外出(買物・通院など)の粟生線利用回数の意向
(既に利用している方のみ)

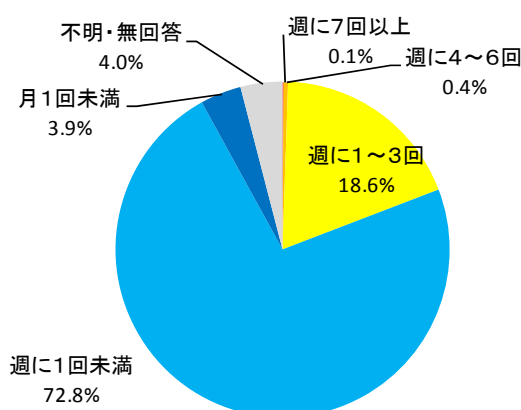


週に7回以上	12件	1.9%
週に4～6回	44件	6.8%
週に1～3回	154件	23.9%
週に1回未満	248件	38.5%
月1回未満	9件	1.4%
不明・無回答	177件	27.5%
合 計	644件	100.0%

〔結果：利用可能な回数（利用できそうな方のみ）（回答数＝939 件）〕

- 「週に1回未満」が684件で72.8%と最も多く、次いで「週に1～3回」が175件で18.6%、さらに「月1回未満」が37件で3.9%と続いています。

平日の外出(買物・通院など)の粟生線利用回数の意向
(利用できそうな方のみ)



週に7回以上	1件	0.1%
週に4～6回	4件	0.4%
週に1～3回	175件	18.6%
週に1回未満	684件	72.8%
月1回未満	37件	3.9%
不明・無回答	38件	4.0%
合 計	939件	100.0%

③休日の外出（レジャー）時の利用意向

〔設問〕

● 平日の外出(買物・通院など)で「粟生線」を利用することは可能ですか?

☐ 既に利用している →もっと利用できそうですか? ☐ 週に 月に 回程度なら可能

☐ 利用できる →どの程度利用できそうですか? ☐ 週に 月に 回程度なら可能

☐ 利用することはできない

☐ 平日に外出をしない

☐ 平日に粟生線を利用して外出する目的がない

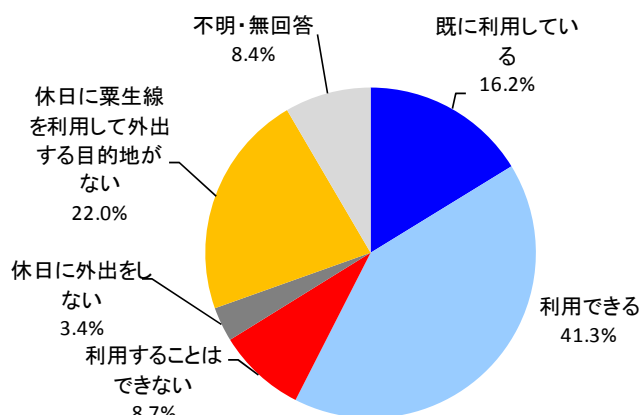


粟生線に乗って普段行かないお店を見つけてみませんか?

〔結果：利用の可能性（回答数＝3,934件）〕

- 「利用できる」が1623件で41.3%と最も多く、次いで「休日に粟生線を利用して外出する目的がない」が866件で22.0%、さらに「既に利用している」が639件で16.2%と続いています。

休日の外出(レジャーなど)における粟生線利用の可能性

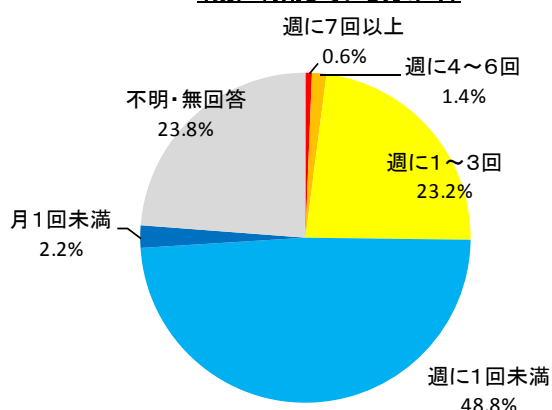


既に利用している	639件	16.2%
利用できる	1623件	41.3%
利用することはできない	341件	8.7%
休日に外出をしない	133件	3.4%
休日に粟生線を利用して外出する目的がない	866件	22.0%
不明・無回答	332件	8.4%
合 計	3934件	100.0%

〔結果：利用可能な回数（既に利用している方のみ）（回答数＝639件）〕

- 「週に1回未満」が312件で48.8%と最も多く、次いで「週に1～3回」が148件で23.2%、さらに「月1回未満」が14件で2.2%と続いています。

**休日の外出(レジャーなど)の粟生線利用回数の意向
(既に利用している方のみ)**

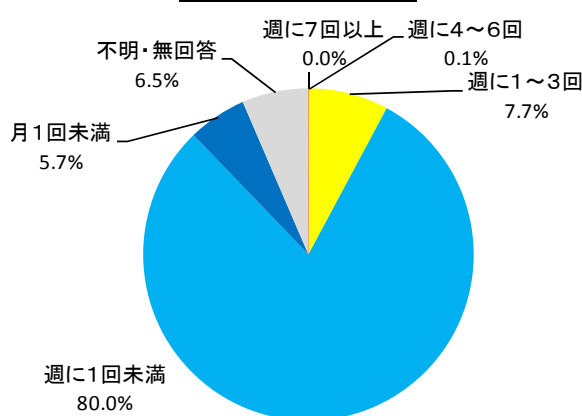


週に7回以上	4件	0.6%
週に4～6回	9件	1.4%
週に1～3回	148件	23.2%
週に1回未満	312件	48.8%
月1回未満	14件	2.2%
不明・無回答	152件	23.8%
合 計	639件	100.0%

〔結果：利用可能な回数（利用できそうな方のみ）（回答数＝1,623件）〕

- 「週に1回未満」が1298件で80.0%と最も多く、次いで「週に1～3回」が125件で7.7%、さらに「月1回未満」が93件で5.7%と続いています。

**休日の外出(レジャーなど)の粟生線利用回数の意向
(利用できそうな方のみ)**



週に7回以上	0件	0.0%
週に4～6回	2件	0.1%
週に1～3回	125件	7.7%
週に1回未満	1298件	80.0%
月1回未満	93件	5.7%
不明・無回答	105件	6.5%
合 計	1623件	100.0%

(4) 粟生線の活性化に向けた取組の内容

〔設問〕

問5 「粟生線」を利用しやすくするためには、どのような取組が必要だと思いますか？
また、現状で「粟生線」を利用しにくい理由があれば、ご自由にお書きください。

〔結果：記述内容の抜粋〕

- 神戸電鉄に対する要望
 - ・ 運賃の低廉化，企画切符の充実
 - ・ 所要時間の短縮
 - ・ 利用者数に応じた運行本数，車両数の設定
 - ・ 競合する路線バスとのサービス水準差の是正
 - ・ 通勤・通学利用者，高齢者のための存続 等
- 今後の活性化策の提案
 - ・ 駅周辺の駐輪場，駐車場整備
 - ・ 最寄り駅周辺のイベント企画と情報提供
 - ・ 各種団体への積極的な利用促進要請
 - ・ 学校・企業の誘致や住宅地開発などによる駅周辺の活性化 等

(5) 回答者の属性

①性別、年齢、職業

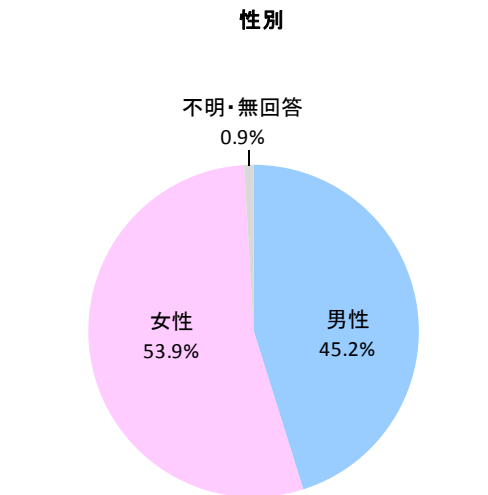
〔設問〕

問6 あなたご自身のことについてお聞きます。

性別	☐ 男性 ☐ 女性
年齢	☐ 10歳代 ☐ 20歳代 ☐ 30歳代 ☐ 40歳代 ☐ 50歳代 ☐ 60歳代 ☐ 70歳以上
職業	☐ 会社員など(自宅以外で就労している) ☐ 学生 ☐ 自営業など(自宅で就労している) ☐ 主婦・主夫 ☐ その他 ※ 勤務地または通学先の町名をご記入ください。

〔結果：性別（回答数＝3,934 件）〕

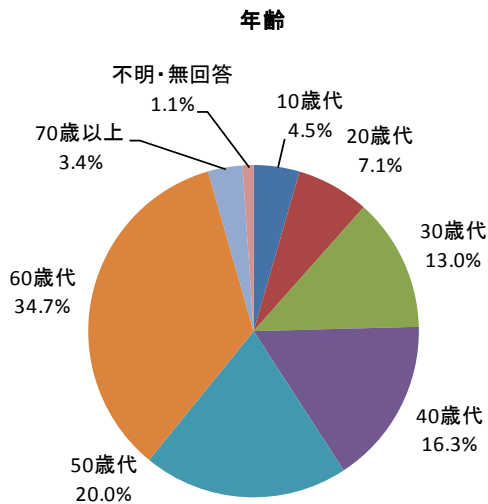
- 「女性」が 2121 件で 53.9%、「男性」が 1777 件で 45.2%となっています。



男性	1777件	45.2%
女性	2121件	53.9%
不明・無回答	36件	0.9%
合 計	3934件	100.0%

〔結果：年齢（回答数＝3,934 件）〕

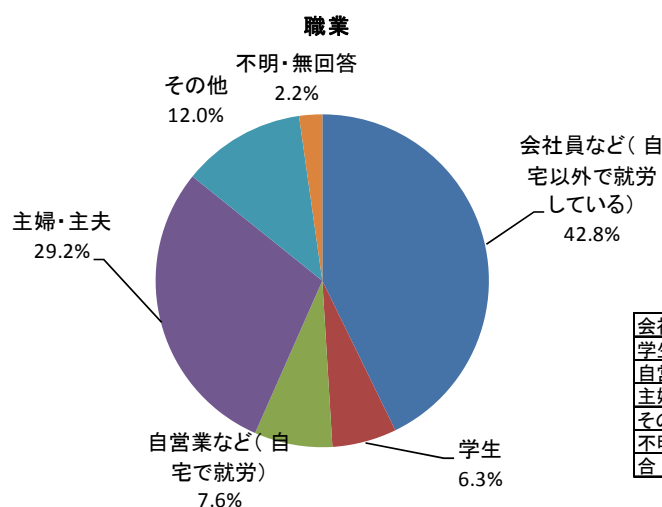
- 「60 歳代」が 1366 件で 34.7%と最も多く、次いで「50 歳代」が 787 件で 20.0%、「40 歳代」が 640 件で 16.3%と続いています。



10歳代	176件	4.5%
20歳代	279件	7.1%
30歳代	512件	13.0%
40歳代	640件	16.3%
50歳代	787件	20.0%
60歳代	1366件	34.7%
70歳以上	132件	3.4%
不明・無回答	42件	1.1%
合 計	3934件	100.0%

〔結果：職業（回答数＝3,934件）〕

- 「会社員など（自宅以外で就労している）」が1683件で42.8%と最も多く、次いで「主婦・主夫」が1148件で29.2%、さらに「その他」が471件で12.0%と続いています。

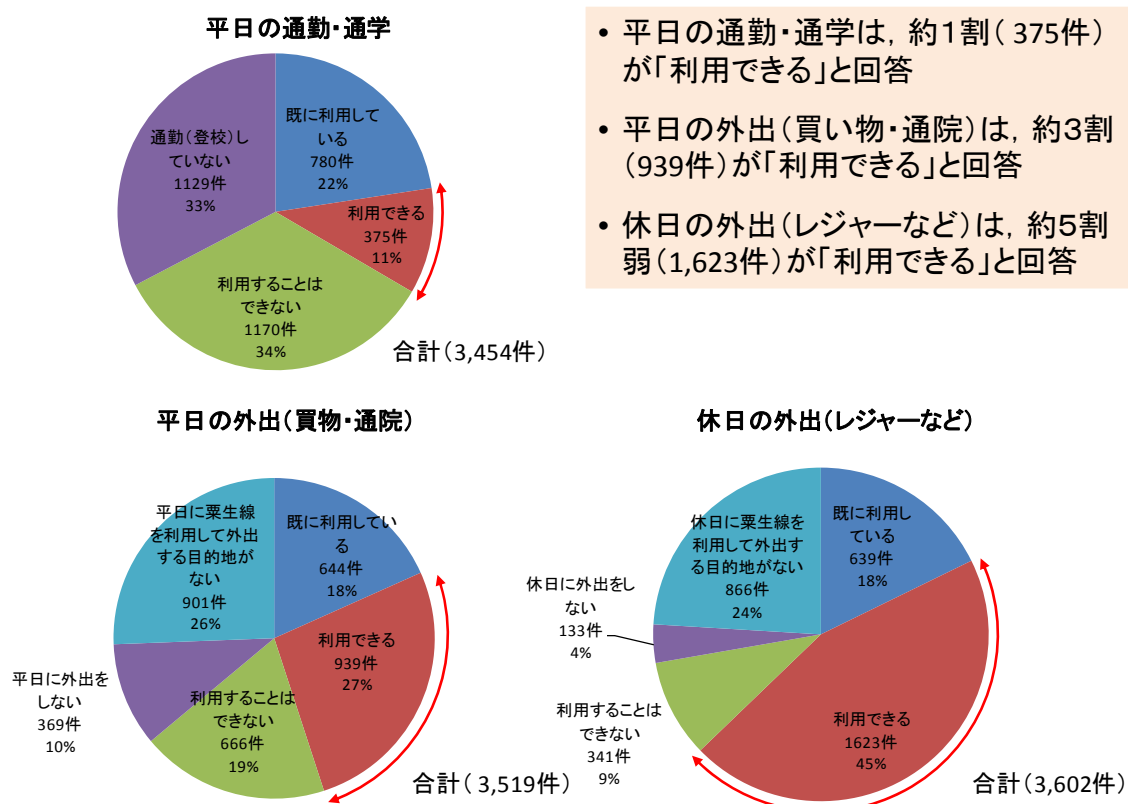


会社員など（自宅以外で就労している）	1683件	42.8%
学生	246件	6.3%
自営業など（自宅で就労している）	298件	7.6%
主婦・主夫	1148件	29.2%
その他	471件	12.0%
不明・無回答	88件	2.2%
合 計	3934件	100.0%

オ 目的別の粟生線利用意向

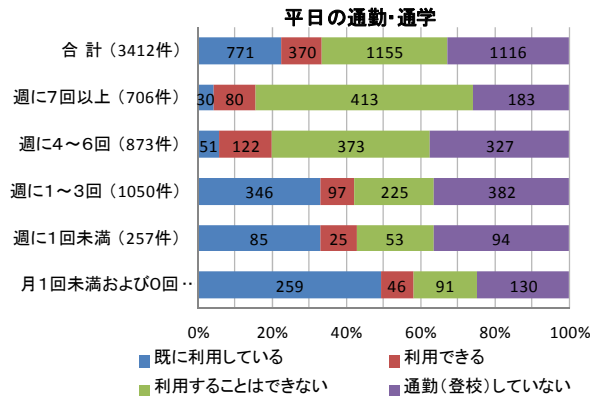
外出目的別（「平日の通勤・通学」／「平日の外出（買物・通院）」／「休日の外出（レジャーなど）」）の粟生線の利用意向と回答者の特性を分析した。

目的別の粟生線利用意向



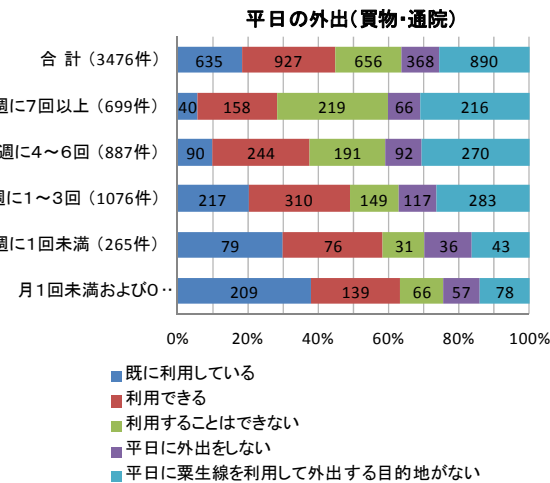
クルマの利用頻度 × 目的別の粟生線利用意向

クルマ利用頻度

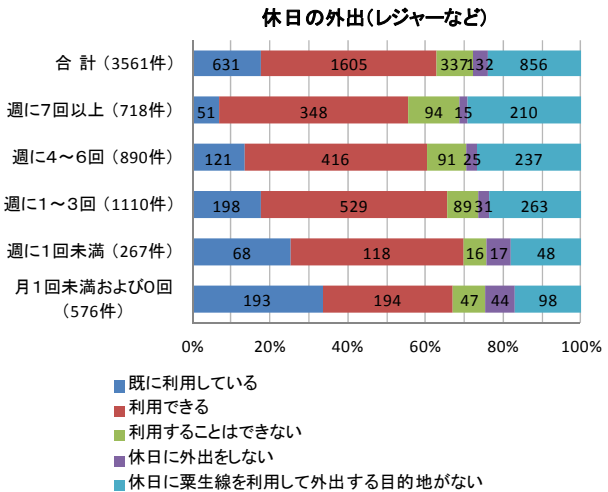


- 普段のクルマの利用頻度に関わらず、一定の利用意向が見られる
- その割合は平日の通勤・通学が約1割、平日の外出が約3割、休日の外出が約5割を占める

クルマ利用頻度

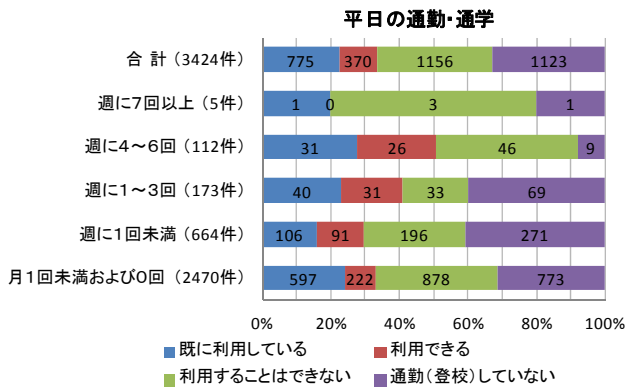


クルマ利用頻度



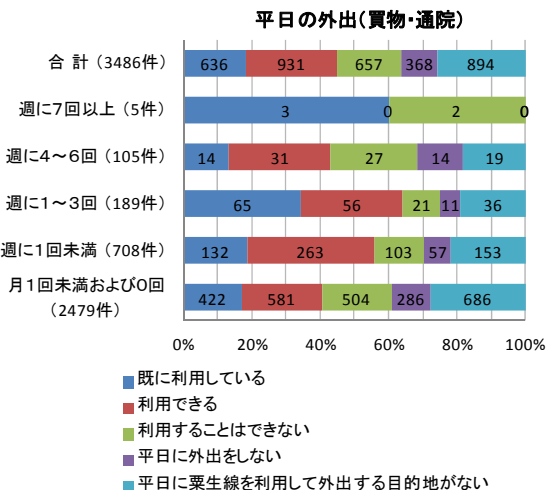
バスの利用頻度 × 目的別の粟生線利用意向

バス利用頻度

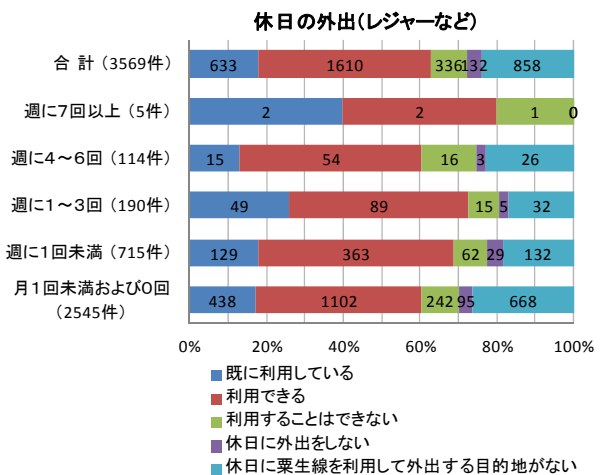


- サンプル数の少ない層を除くと、平日の通勤・通学はバス利用頻度が高いほど利用意向が高い
- その他の目的は、利用頻度によらず、一定の利用意向が見られる

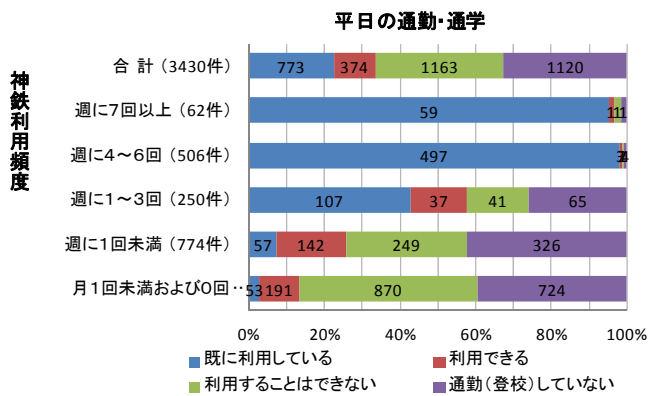
バス利用頻度



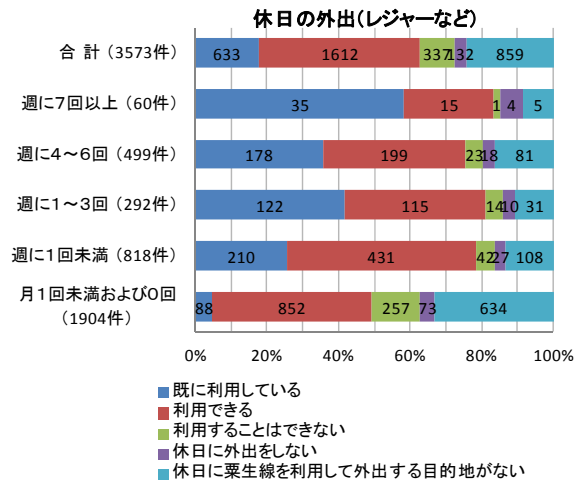
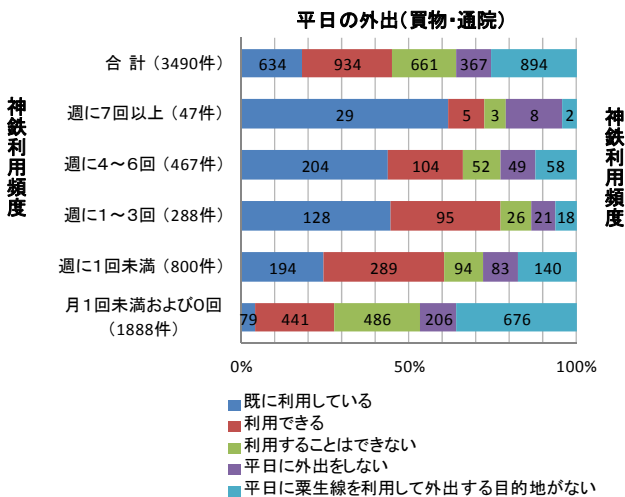
バス利用頻度



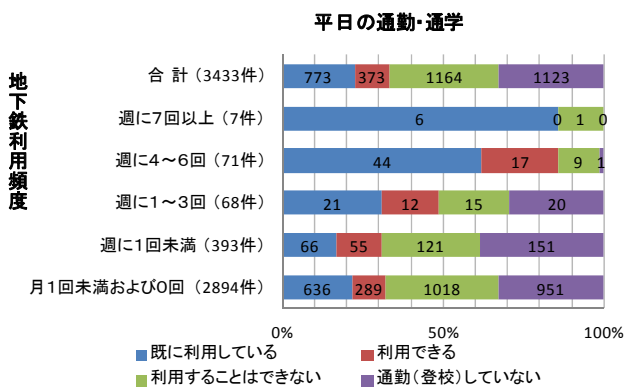
神鉄の利用頻度×目的別の粟生線利用意向



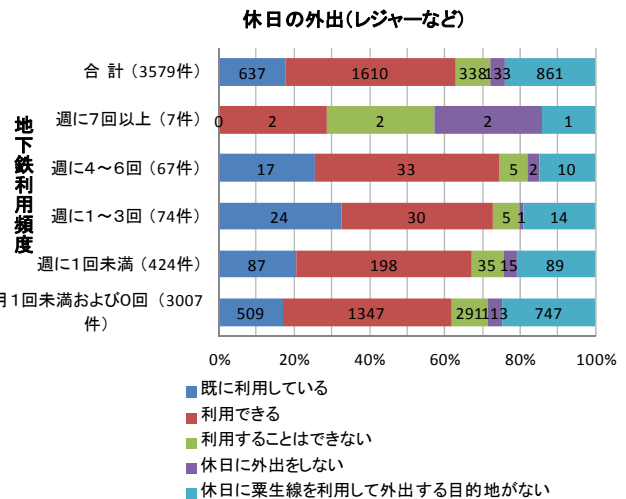
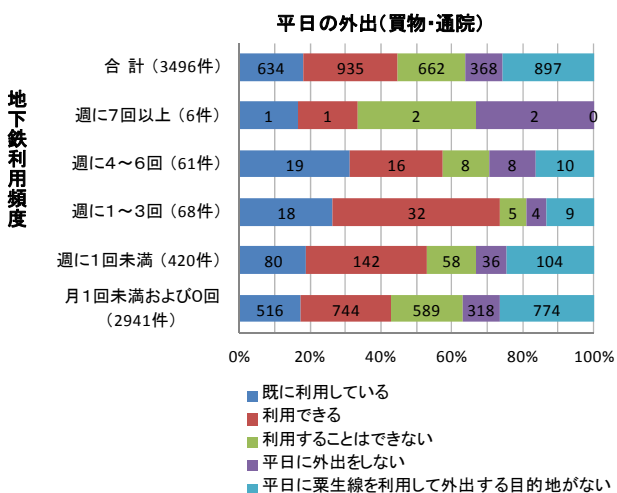
- 既に週に4回以上神鉄を利用している人の利用意向は低い
- 一方で、現在の神鉄の利用頻度が低い層にも一定の利用意向が見られる



地下鉄の利用頻度×目的別の粟生線利用意向



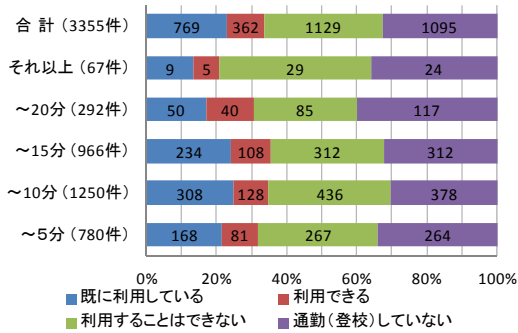
- サンプル数の少ない層を除くと、平日の通勤・通学は、地下鉄の利用頻度が低いほど利用意向が高い
- その他の目的は、利用頻度によらず、一定の利用意向が見られる



最寄り駅までの徒歩時間×目的別の利用意向

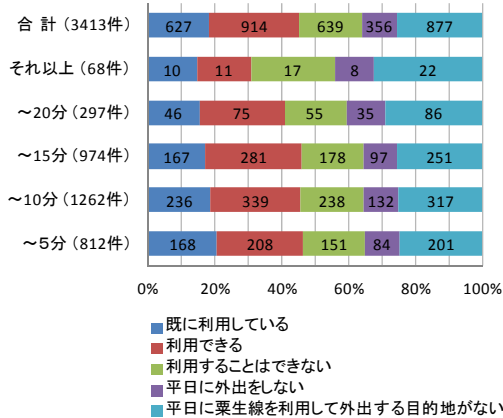
最寄り駅までの徒歩時間

平日の通勤・通学

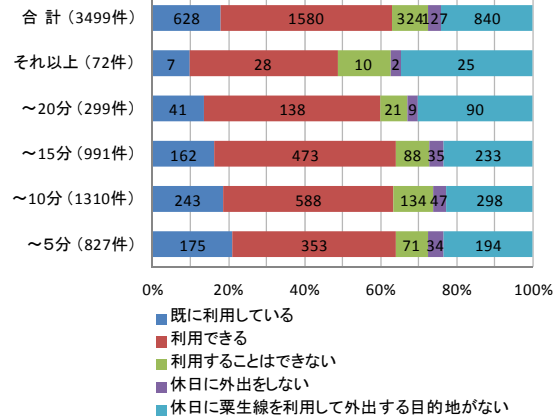


- 徒歩20分以上と比べて20分未満の層は利用意向が高い
- その割合は平日の通勤・通学が約1割, 平日の外出が約2割, 休日の外出が約4割を占める

平日の外出(買物・通院)



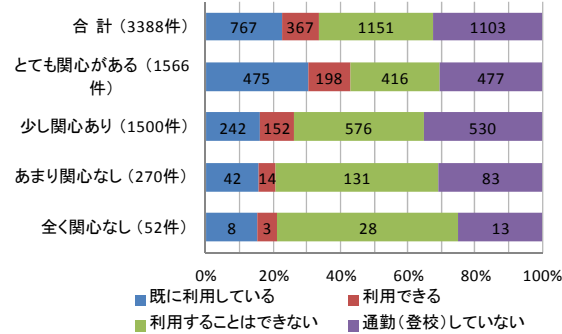
休日の外出(レジャーなど)



小冊子への関心×目的別の利用意向

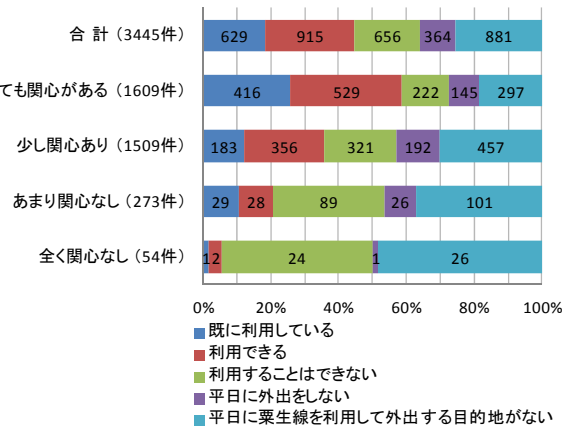
小冊子への関心

平日の通勤・通学

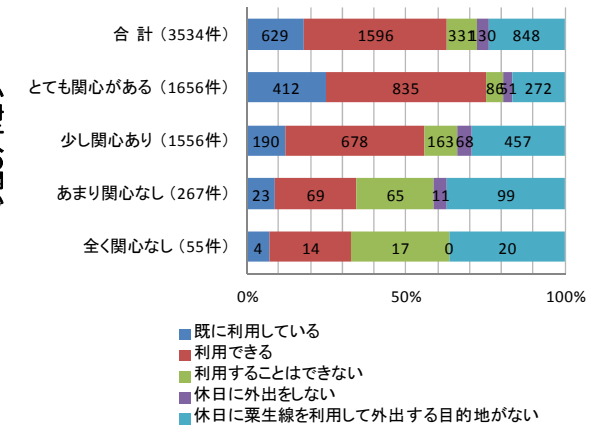


- 小冊子への関心が高い方ほど利用意向が高い
- 特に休日の外出については「とても関心がある」方の約半数に利用意向が見られる

平日の外出(買物・通院)



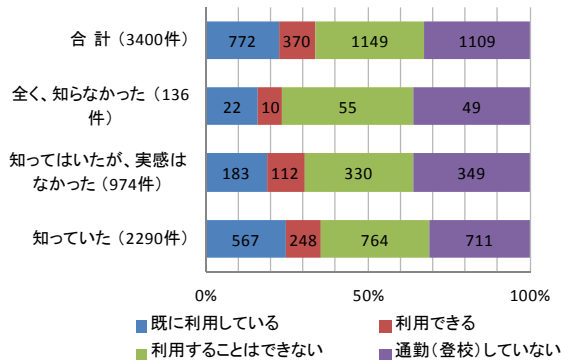
休日の外出(レジャーなど)



栗生線廃止に対する危機感×目的別の利用意向

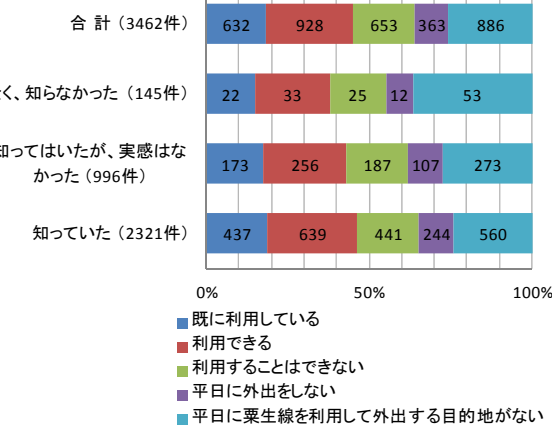
栗生線廃止に対する危機感

平日の通勤・通学



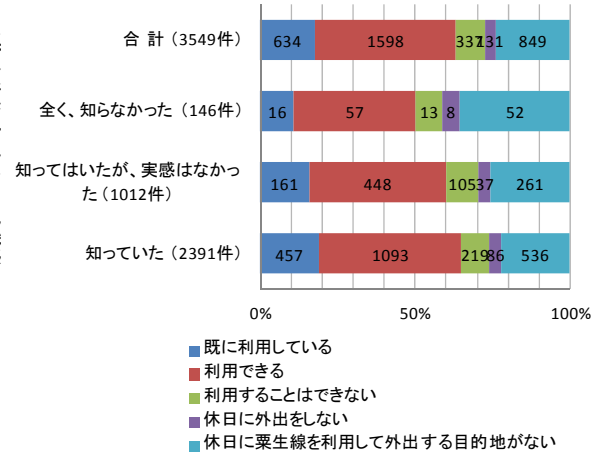
平日の外出(買物・通院)

栗生線廃止に対する危機感



休日の外出(レジャーなど)

栗生線廃止に対する危機感

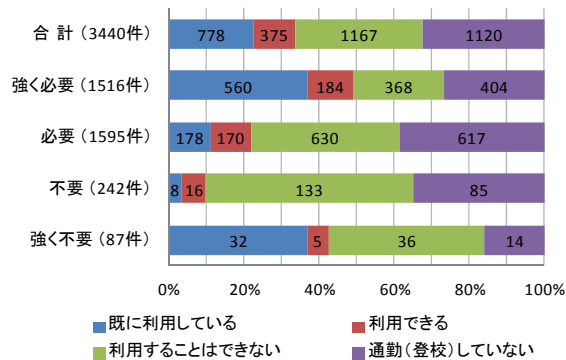


- 「栗生線がなくなる日」が来るかもしれないことに対する意識に関わらず、一定の利用意向が見られる
- その割合は平日の通勤・通学が約1割、平日の外出が約3割、休日の外出が約4割を占める

自身の栗生線の必要性×目的別の栗生線利用意向

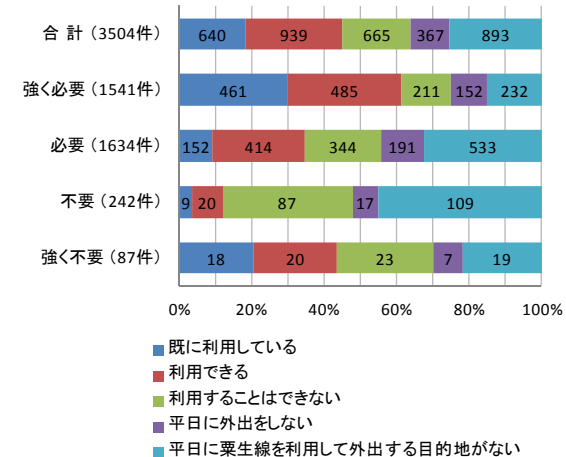
自身の栗生線の必要性

平日の通勤・通学



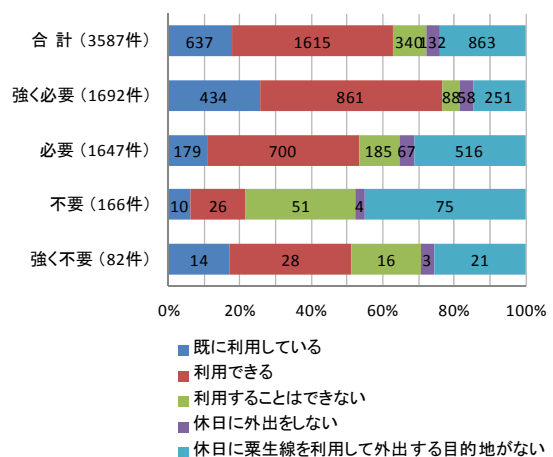
平日の外出(買物・通院)

自身の栗生線の必要性



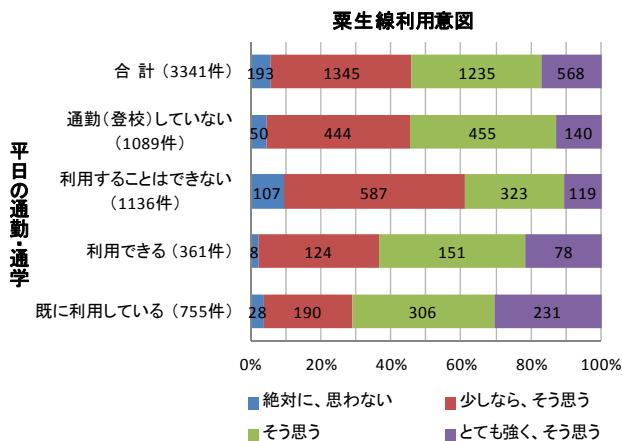
休日の外出(レジャーなど)

自身の栗生線の必要性

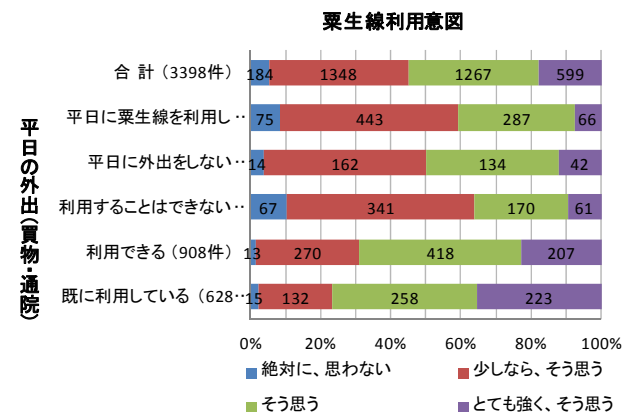


- 栗生線を「必要」または「強く必要」とする人の利用意向が高い
- その割合は平日の通勤・通学が約1割、平日の外出が約3割、休日の外出が約4割強を占める

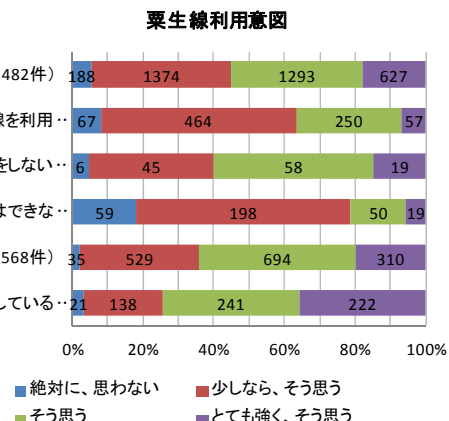
目的別の粟生線利用意向×粟生線利用意図



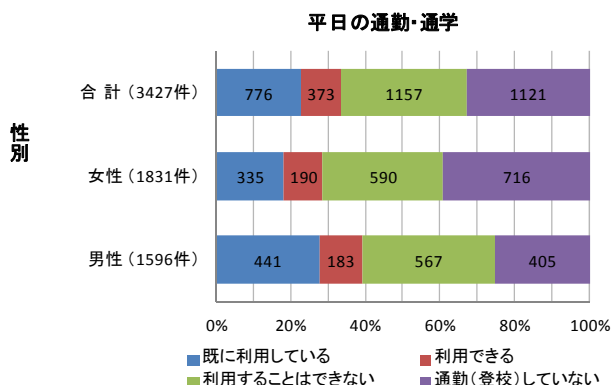
- 「利用できる」とする層は利用意図が高い
- 一方、「利用することができない」とする層においても、一定の利用意図が見られる



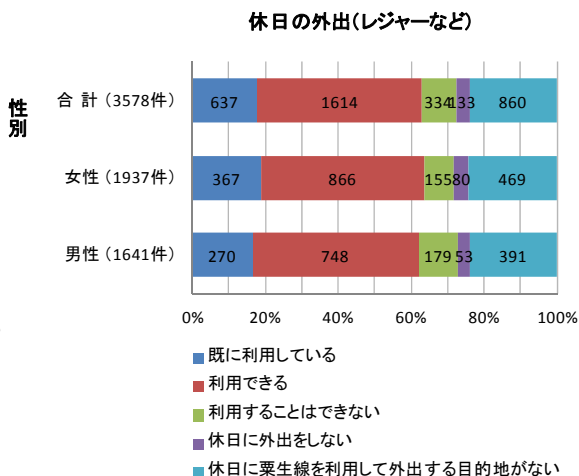
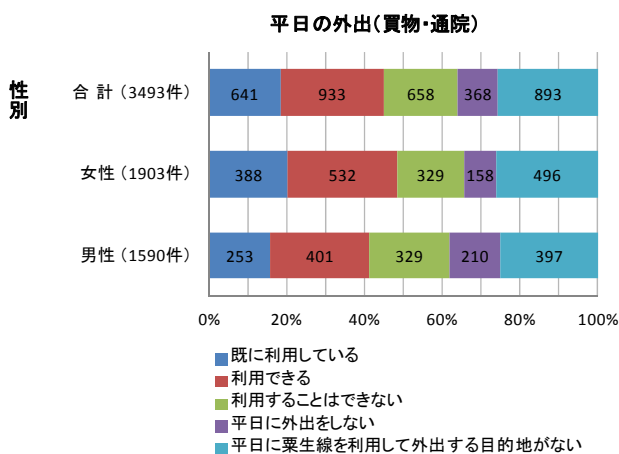
休日の外出(レジャーなど)



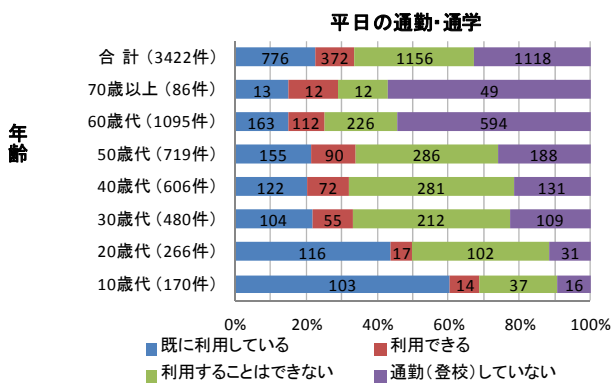
性別×目的別の粟生線利用意向



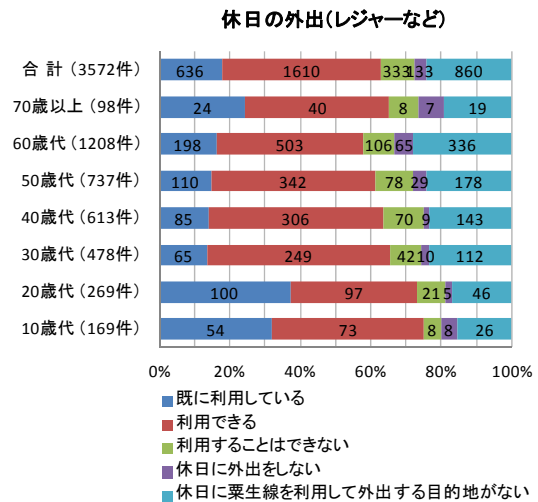
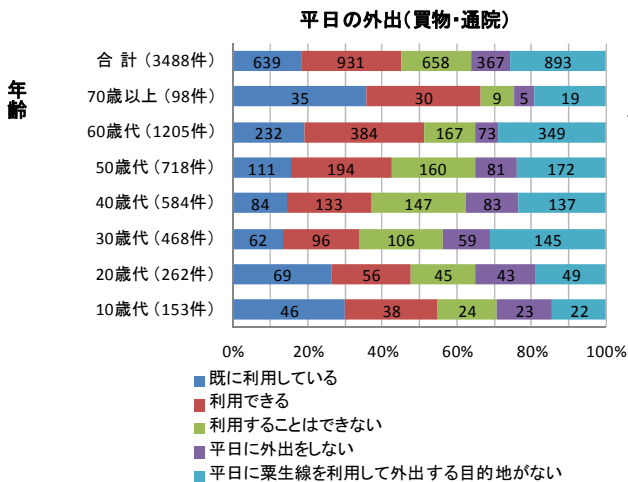
- 性別に関わらず、一定の利用意向が見られる
- その割合は平日の通勤・通学が約1割、平日の外出が約3割、休日の外出が約5割を占める



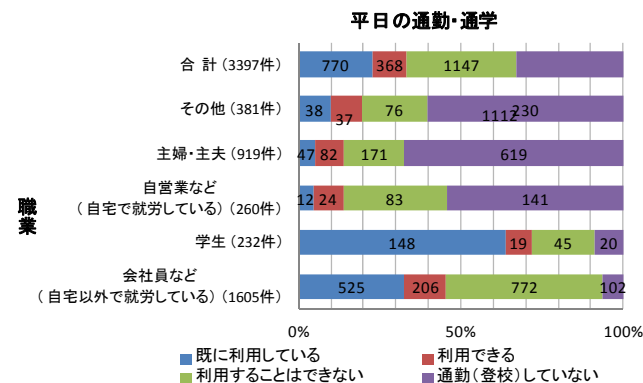
年齢×目的別の粟生線利用意向



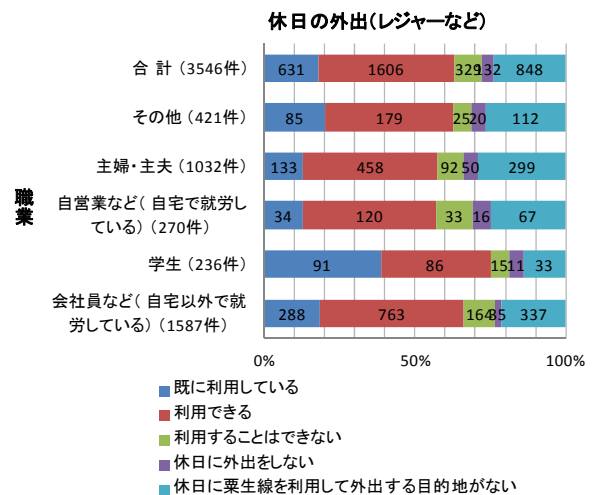
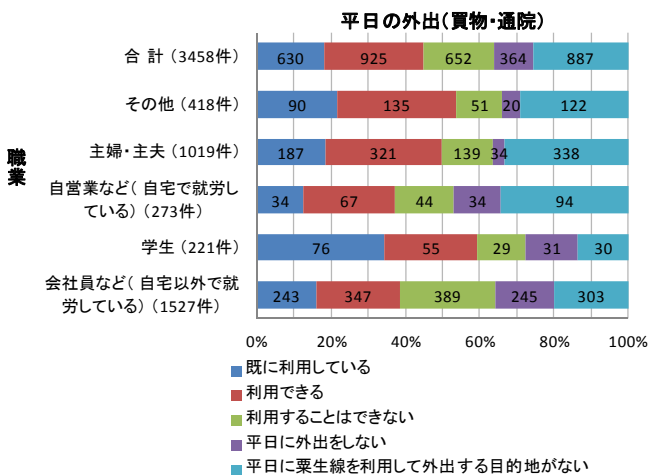
- 平日の通勤・通学は利用頻度の高い10代、20代を除く全ての年齢において一定の利用意向が見られる
- 平日の外出は年齢が高い人ほどやや利用意向が高い
- 一方、休日の外出は30代、40代でやや利用意向が高い



職業×目的別の粟生線利用意向



- 平日の通勤・通学は、「自宅以外で就労している会社員」の利用意向が高い
- 平日の外出は「主婦・主夫」または「その他」の利用意向が高い
- 休日のレジャーは、学生の利用意向は若干劣るものの、約4割が利用意向を示している



(3) 効果検証アンケートの実施

コミュニケーション・アンケートを通じた意識や交通行動の変化を検証するための2回目のアンケート調査を実施した。

ア 調査対象地域及び調査方法

以下に示す地域の方を対象に、アンケート調査票の配布を行った。

『神戸電鉄粟生線と私たちの日常生活を考えるアンケート調査結果（第1回調査）』のうち、今後もアンケート調査に協力できると回答された方（2,751人）。

アンケート調査票の配布及び回収は、以下の日程で行った。

- ・アンケート発送日：平成23年11月14日（月）
- ・アンケート締切日：平成23年11月30日（水）

イ 配布枚数及び回収枚数

第1回調査で今後もアンケート調査に協力できると回答された方2,751人に調査票を発送し、そのうち1,627人から回答を頂いた。

▼ 調査票の回収状況

地域	調査票					②調査票 発送数	③調査票 回収数	④回収率 (=③÷②)
	①発送封筒数	1枚入	2枚入	3枚入	4枚入			
三木市	990 世帯	703 世帯	286 世帯	-	1 世帯	1,279 枚	753 枚	58.9%
小野市	423 世帯	318 世帯	103 世帯	2 世帯	-	530 枚	329 枚	62.1%
神戸市	713 世帯	488 世帯	223 世帯	2 世帯	-	940 枚	544 枚	57.9%
その他	2 世帯	2 世帯	-	-	-	2 枚	1 枚	50.0%
合計	2,128 世帯	1,511 世帯	612 世帯	4 世帯	1 世帯	2,751 枚	1,627 枚	59.1%

ウ 調査票

①送り状

**神戸電鉄栗生線と私たちの日常生活を考える
第2回アンケート調査**

神戸電鉄栗生線沿線にお住まいの皆様へ

先日は、「神戸電鉄栗生線と私たちの日常生活を考えるアンケート調査(9月実施)」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

このたび、前回のアンケートで、「次回のアンケートにも協力できる」とご回答いただいた方を対象に、再度簡単なアンケートを企画させていただきました。ぜひとも協力いただきますよう、よろしくお願い致します。

また、別添のとおり、栗生線沿線でのウォーキングイベント等を開催しておりますので、奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願い致します。

平成23年11月

神戸電鉄栗生線活性化協議会
会長 三木市理事 北井信一郎

ご回答にあたってのお願い

- 前回の調査いただいた **ご本人** がご回答ください。
- 数分のお時間のご協力をお願いいたします。
- ご回答後は同封の返信用封筒に入れて **11月30日(水)**までにご返送ください。
- 公表にあたっては、すべて統計的に処理しますので、個人の情報は一切公表いたしません。

■ご質問等は、下記までお問い合わせください。

神戸市 企画調整局企画調整部調整課	(担当: 植田、古川)	TEL 078-322-5039
三木市 まちづくり部美しきまちづくり課	(担当: 中西、平井)	TEL 0794-62-2000
小野市 総合政策部交通政策グループ	(担当: 上田)	TEL 0794-63-1000
神戸電鉄株式会社 鉄道事業本部企画部	(担当: 前田)	TEL 078-592-2221
兵庫県 県土整備部県土企画局交通政策課	(担当: 木下)	TEL 078-341-7711

■神戸電鉄栗生線活性化協議会は、神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄、兵庫県、国、沿線住民代表、学識経験者で構成されています。

■アンケート結果は来年3月に神戸電鉄栗生線活性化協議会ホームページに掲載予定です。

http://www.shintetsu.co.jp/aosen_kasseka

または...

神戸電鉄栗生線活性化協議会

②表

● このアンケートは前回のアンケートにご回答頂いた **ご本人** がご回答ください。

● _____には数字を、あてはまる口には ☒ をご記入下さい。

問1 はじめに前回のアンケートについてお聞きします。

① 前回の調査頂いた
神戸電鉄栗生線と私たちの日常生活を考えるアンケート調査
について、ご記憶にありますか?

☐ よく覚えている
☐ なんとなく覚えている
☐ 回答したような気がするが、内容は覚えていない
☐ 全く記憶にない

② 前回のアンケートにお答え頂いた後、
できるだけ、栗生線を利用して出かけけしようにと、
思いましたか?

☐ 全然、そんなことを思うようにはならなかった
☐ ほんの少しだけなら、思うようになった
☐ 思うようになった
☐ とても思うようになった

③ 実際に、あなたご自身の「栗生線の利用」が、
少しでも増えた、と思いますか?

☐ 増えた、と思う → ☐ 週に 月に 回数増えた
☐ 全く、変わっていないと思う
☐ 減った、と思う } 4)にお読みください

※1つだけ選んでください

① 「栗生線の利用」が増えた、と思う主な
利用目的は何ですか?

☐ 買い物 ☐ 趣味・おけいこ ☐ 通学 ☐ 通勤
☐ 通学 ☐ 通院 ☐ レジャー・ハイキング
☐ イベント ☐ その他()

② 栗生線を利用して参加した
イベントがあればすべて選んでください。

※参加したイベントすべてを選んでください

☐ 神鉄トレインフェスティバル [10月2日開催]
☐ 小野市産業フェスティバル [10月22-23日開催]
☐ 三木金物まつり [11月5-6日開催]
☐ その他()

③ 「栗生線の利用」が増えた、と思う主な
行き先はどこですか?

※目的地の最寄りの駅名をご記入ください

() 駅

④ 前回のアンケートに同封した小冊子に
休日のおでかけにお得なきっぷとして、
・栗生線 家族おでかけきっぷ
・神鉄・高速全線「日曜限定 おでかけ4dayチケット」
・神鉄・高速シニアパス
をご紹介しました。アンケートにお答え頂いた後、
上記のきっぷを利用しましたか?

☐ 利用した → 利用したきっぷをすべて選んでください

☐ 神鉄・高速全線「日曜限定 おでかけ4dayチケット」
☐ 神鉄・高速シニアパス
☐ その他()

☐ まだ利用していないが、今後利用してみようと思う
☐ まだ利用していないし、今後利用することはないと思う

問2 あなたご自身の最近の移動についてお聞きします。

● それぞれの交通手段をどのくらい使っていますか?

※「0回」の手帳については、空欄で結構です。(記入例) ☒ 週に 月に 3 回程度

「クルマ」を使った外出が	☐ 週に 月に 回程度
「バス」を使った外出が	☐ 週に 月に 回程度
「神鉄」を使った外出が	☐ 週に 月に 回程度
「地下鉄」を使った外出が	☐ 週に 月に 回程度
「その他の鉄道」を使った外出が	☐ 週に 月に 回程度

(裏面に続きます。)

③裏

問3 本調査に対するご感想など、ご自由にご記入ください。

問4 あなたご自身についてお聞きします。

性別	☐ 男性 ☐ 女性
年齢	☐ 10歳代 ☐ 20歳代 ☐ 30歳代 ☐ 40歳代 ☐ 50歳代 ☐ 60歳代 ☐ 70歳以上

問5 今後も引き続き、アンケート等にご協力いただける場合は住所・氏名・メールアドレスをご記入ください。

お名前	
ご住所	※ 郵便にお届けするために郵便名、アパート・マンション(建物名)まで正確にご記入ください。 〒 -
メールアドレス	※ パソコンのメールアドレスをご記入ください。 ④

2回に渡るアンケートへのご協力、ありがとうございます。封筒に入れてご返送下さい。

エ 集計結果

第2回アンケート調査の各設問とその調査結果は以下の通りである。

(1) 前回のアンケートの記憶

① 前回のアンケートについて

〔設問〕

問1 はじめに前回のアンケートについてお聞きします。

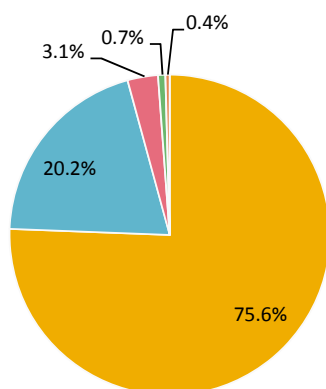
1) 前回ご回答頂いた

神戸電鉄粟生線と私たちの日常生活を考えるアンケート調査
について、**ご記憶**にありますか？

- ☐ よく覚えている
- ☐ なんとなく覚えている
- ☐ 回答したような気がするが、内容は覚えていない
- ☐ 全く記憶にない

〔結果：(回答数=1,627件)〕

- 「よく覚えている」が1,230件で75.6%と最も多く、次いで「なんとなく覚えている」が328件で20.2%、さらに「回答したような気がするが、内容は覚えていない」が50件で3.1%と続いています。



- よく覚えている
- なんとなく覚えている
- 回答したような気がするが、
内容は覚えていない
- 全く記憶にない
- 不明・無回答

よく覚えている	1,230件	75.6%
なんとなく覚えている	328件	20.2%
回答したような気がするが、内容は覚えていない	50件	3.1%
全く記憶にない	12件	0.7%
不明・無回答	7件	0.4%
合 計	1,627件	100.0%

② 粟生線の利用意向の変化

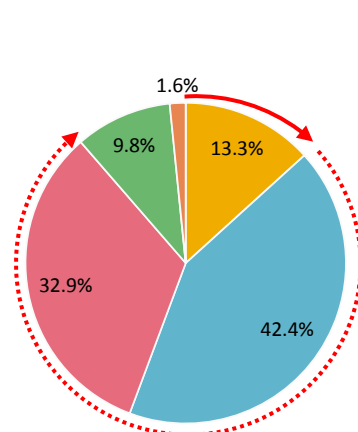
〔設問〕

2) 前回のアンケートにお答え頂いた後、
できるだけ、**粟生線**を利用してお出かけしようと、
思いましたか？

- ☐ 全然、そんなことを思うようにはならなかった
- ☐ ほんの少しだけなら、思うようになった
- ☐ 思うようになった
- ☐ とても思うようになった

〔結果：(回答数=1,627件)〕

- 「思うようになった」が690件で42.4%と最も多く、次いで「ほんの少しだけなら、思うようになった」が536件で32.9%、さらに「とても思うようになった」が216件で13.3%と続いています。



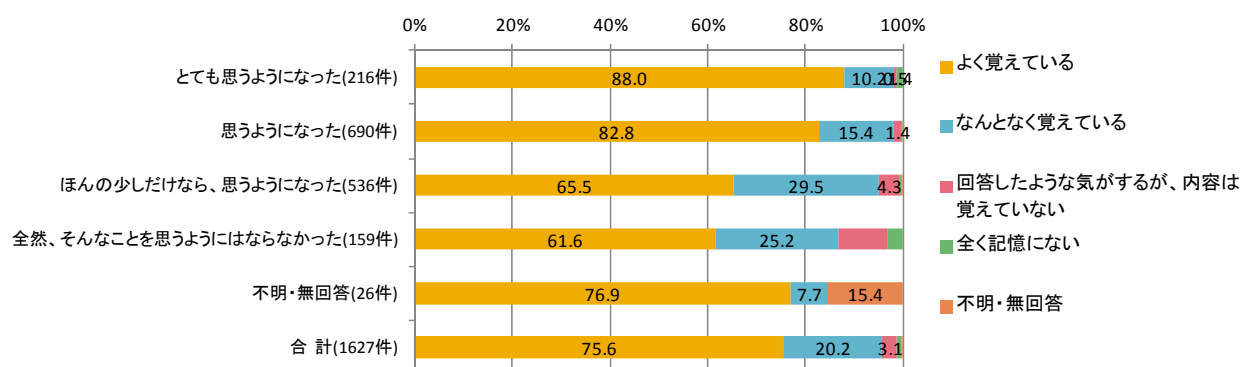
- とても思うようになった
- 思うようになった
- ほんの少しだけなら、思うよ
うになった
- 全然、そんなことを思うよう
にはならなかった
- 不明・無回答

とても思うようになった	216件	13.3%
思うようになった	690件	42.4%
ほんの少しだけなら、思うようになった	536件	32.9%
全然、そんなことを思うようにはならなかった	159件	9.8%
不明・無回答	26件	1.6%
合 計	1,627件	100.0%

〔「粟生線の利用意向の変化」別の特徴〕

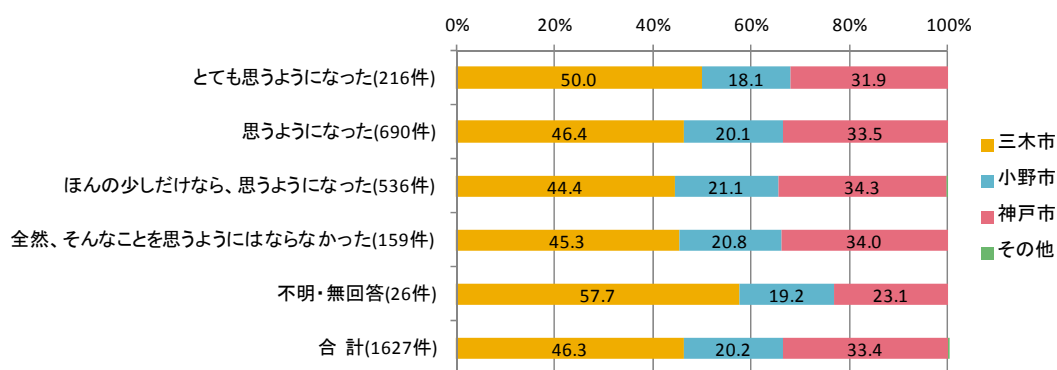
● 前回のアンケートの記憶

前回ご回答頂いた神戸電鉄粟生線と私たちの日常生活を考えるアンケート調査について、ご記憶にありますか？



● 居住地

前回のアンケートにお答え頂いた後、できるだけ、粟生線を利用してお出かけしよう、と思いましたか？



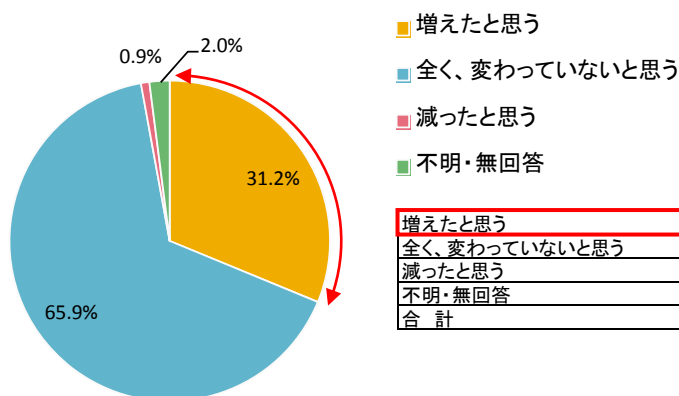
③実際の粟生線の利用

〔設問〕

3) 実際に、 あなたご自身 の「粟生線の利用」が、 少しでも増えた 、と思いますか？	☐ 増えた と思う → ☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度増えた ☐ 全く、変わっていない と思う ☐ 減った と思う
① 「粟生線の利用」が 増えた 、と思う主な 利用目的 は何ですか？	※1つだけ選んでください ☐ 買い物 ☐ 趣味・おけいこ事 ☐ 通勤 ☐ 通学 ☐ 通院 ☐ レジャー・ハイキング ☐ イベント ☐ その他 ()
② 粟生線を利用して参加した イベント があればすべて選んでください。	※参加したイベントすべて選んでください ☐ 神鉄トレインフェスティバル【10月2日開催】 ☐ 小野市産業フェスティバル【10月22・23日開催】 ☐ 三木金物まつり【11月5・6日開催】 ☐ その他 ()
③ 「粟生線の利用」が 増えた 、と思う主な 行き先 はどこですか？	※目的地の最寄りの駅名をご記入ください () 駅

〔結果：粟生線利用の増減（回答数＝1,627件）〕

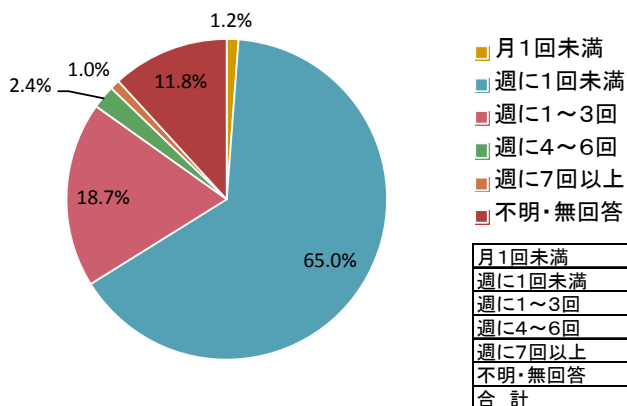
- 「全く、変わっていないと思う」が1072件で65.9%と最も多く、次いで「増えたと思う」が508件で31.2%、「減ったと思う」が14件で0.9%と続いています。



増えたと思う	508件	31.2%
全く、変わっていないと思う	1,072件	65.9%
減ったと思う	14件	0.9%
不明・無回答	33件	2.0%
合 計	1,627件	100.0%

〔結果：増えた回数（回答数＝508件）〕※「粟生線の利用の増減」で「増えたと思う」と回答した方のみ回答。

- 「週に1回未満」が330件で65.0%と最も多く、次いで「週に1～3回」が95件で18.7%、さらに「週に4～6回」が12件で2.4%と続いています。



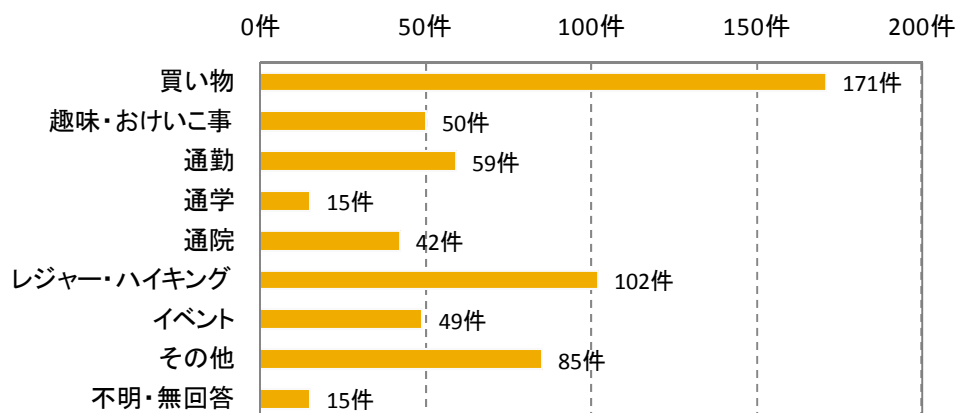
月1回未満	6件	1.2%
週に1回未満	330件	65.0%
週に1～3回	95件	18.7%
週に4～6回	12件	2.4%
週に7回以上	5件	1.0%
不明・無回答	60件	11.8%
合 計	508件	100.0%

〔結果：増えた利用目的（回答数＝508 件）〕

※「栗生線の利用の増減」で「増えたと思う」と回答した方のみ回答。

また複数回答が多かったため、1つだけ回答から複数回答に変更。

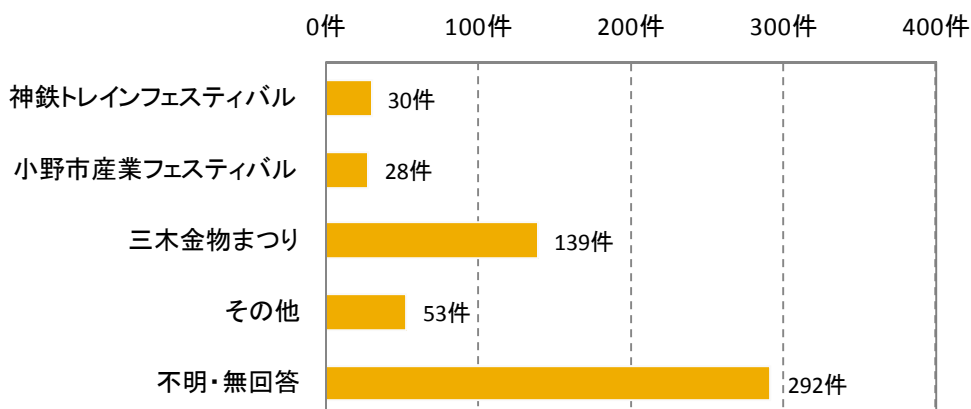
- 「買い物」が 171 件で 33.7%と最も多く、次いで「レジャー・ハイキング」が 102 件で 20.1%、「その他」が 85 件で 16.7%と続いています。



〔結果：栗生線を使って参加したイベント（回答数＝508 件）〕

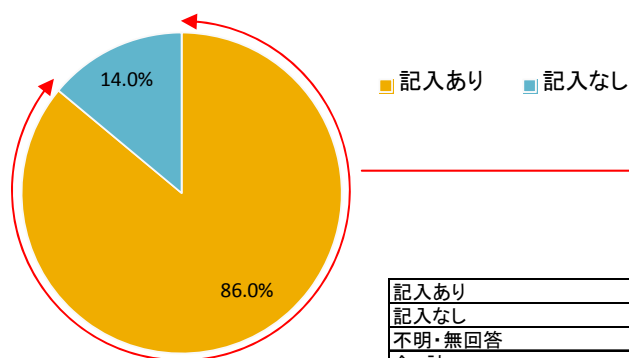
※「栗生線の利用の増減」で「増えたと思う」と回答した方のみ回答。複数回答。

- 「三木金物まつり」が 139 件で 27.4%と最も多くなっています。



〔結果：主な行き先（回答数＝508 件）〕 複数回答

※「栗生線の利用の増減」で「増えたと思う」と回答した方のみ回答。



行き先	件数
三宮	120
新開地	117
湊川	65
三木	39
志染	34
小野	32
緑が丘	31
元町	17
恵比須	17
大村	15
梅田	15
神戸	13
鈴蘭台	11

記入あり	437件	86.0%
記入なし	71件	14.0%
不明・無回答	0件	0.0%
合 計	508件	100.0%

※10 件以上回答があった行き先を抽出

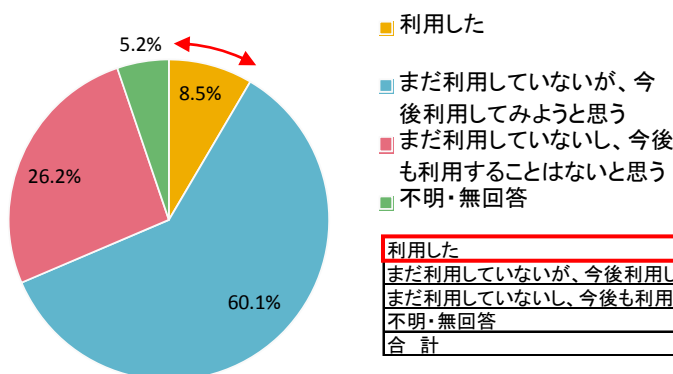
④企画切符の利用状況

〔設問〕

4) 前回のアンケートに同封した小冊子に 休日のおでかけにお得なきっぷとして、 ・粟生線 家族おでかけきっぷ ・神鉄・高速全線「日曜限定 おでかけ4dayチケット」 ・神鉄・高速シニアバス をご紹介しました。アンケートにお答え頂いた後、 上記のきっぷを利用しましたか？	☐ 利用した →利用したきっぷをすべて選んでください ☐ 粟生線 家族おでかけきっぷ ☐ 神鉄・高速全線「日曜限定 おでかけ4dayチケット」 ☐ 神鉄・高速シニアバス ☐ その他 () ☐ まだ利用していないが、今後利用してみようと思う ☐ まだ利用していないし、今後利用することはないと思う
--	--

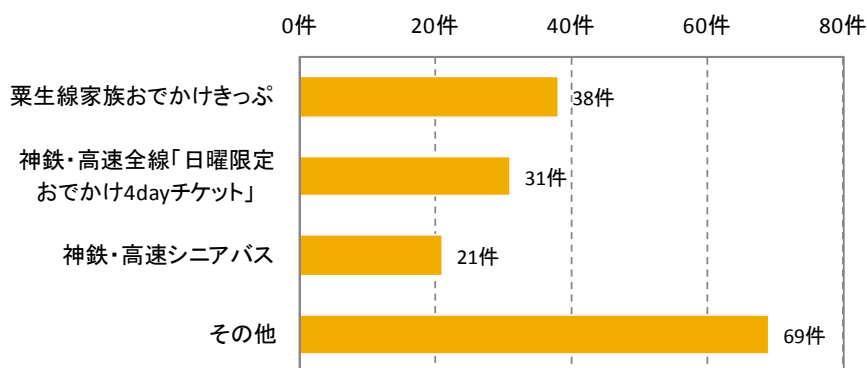
〔結果：お得なきっぷの利用の有無（回答数＝1,627 件）〕

- 「まだ利用していないが、今後利用してみようと思う」が 978 件で 60.1%と最も多く、次いで「まだ利用していないし、今後利用することはないと思う」が 426 件で 26.2%、「利用した」が 138 件で 8.5%と続いています。



〔結果：利用した切符の種類（回答数＝138 件）〕 ※「お得なきっぷの利用の有無」で「利用した」と回答した方のみ。

- 「粟生線 家族おでかけきっぷ」が 38 件で 27.5%、次いで「神鉄・高速全線「日曜限定 おでかけ 4day チケット」」が 31 件で 22.5%と続いています。



粟生線家族おでかけきっぷ



神鉄・高速全線「日曜限定おでかけ 4day チケット」



神鉄・高速シニアバス

(2) 日頃の移動の特徴（前回調査後の行動）

①交通手段

〔設問〕

問2 あなたご自身の最近の移動についてお聞きします。

● それぞれの交通手段をどのくらい使っていますか？

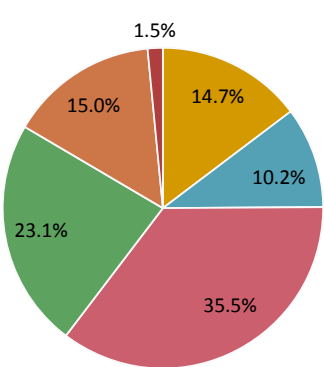
※ “0回”の手段については、空欄で結構です。

(記入例) ☒ 週に ☐ 月に 3 回程度

「クルマ」を使った外出が	☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度
「バス」を使った外出が	☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度
「神鉄」を使った外出が	☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度
「地下鉄」を使った外出が	☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度
「その他の鉄道」を使った外出が	☐ 週に ☐ 月に _____ 回程度

〔結果：クルマでの外出回数（回答数＝1,627件）〕

- 「週に1～3回」が577件で35.5%と最も多く、次いで「週に4～6回」が376件で23.1%、さらに「週に7回以上」が244件で15.0%と続いています。

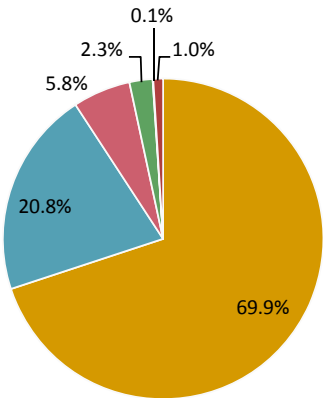


- 月1回未満および0回
- 週に1回未満
- 週に1～3回
- 週に4～6回
- 週に7回以上
- 不明・無回答

月1回未満および0回	239件	14.7%
週に1回未満	166件	10.2%
週に1～3回	577件	35.5%
週に4～6回	376件	23.1%
週に7回以上	244件	15.0%
不明・無回答	25件	1.5%
合 計	1,627件	100.0%

〔結果：バスでの外出回数（回答数＝1,627件）〕

- 「月1回未満および0回」が1138件で69.9%と最も多く、次いで「週に1回未満」が339件で20.8%、さらに「週に1～3回」が95件で5.8%と続いています。

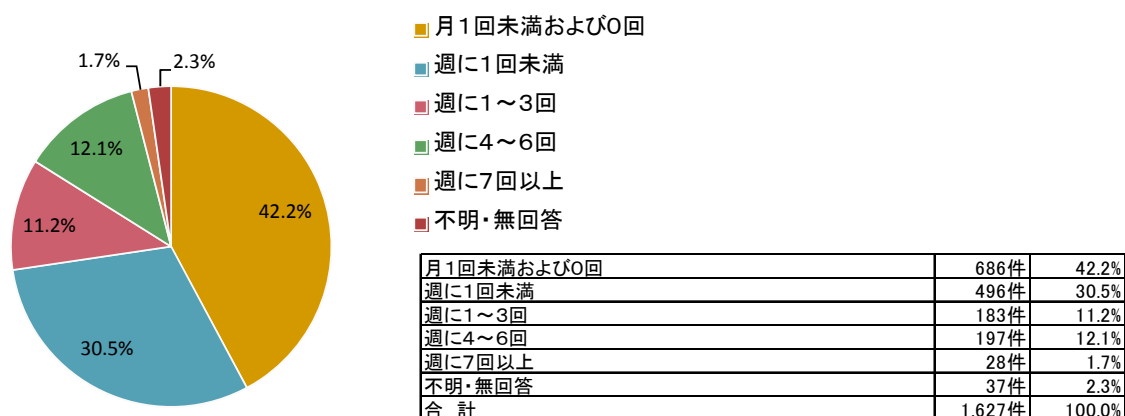


- 月1回未満および0回
- 週に1回未満
- 週に1～3回
- 週に4～6回
- 週に7回以上
- 不明・無回答

月1回未満および0回	1,138件	69.9%
週に1回未満	339件	20.8%
週に1～3回	95件	5.8%
週に4～6回	38件	2.3%
週に7回以上	1件	0.1%
不明・無回答	16件	1.0%
合 計	1,627件	100.0%

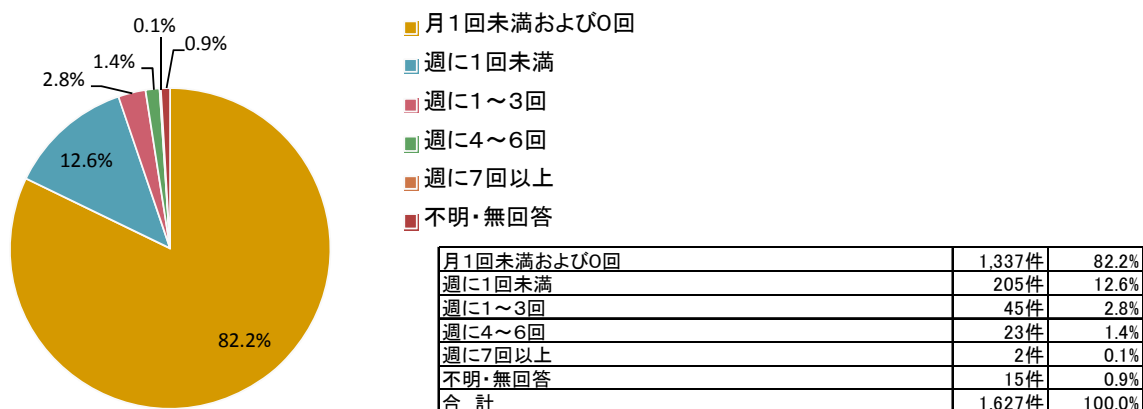
〔結果：神鉄での外出回数（回答数＝1,627件）〕

- 「月1回未満および0回」が686件で42.2%と最も多く、次いで「週に1回未満」が496件で30.5%、さらに「週に4～6回」が197件で12.1%と続いています。



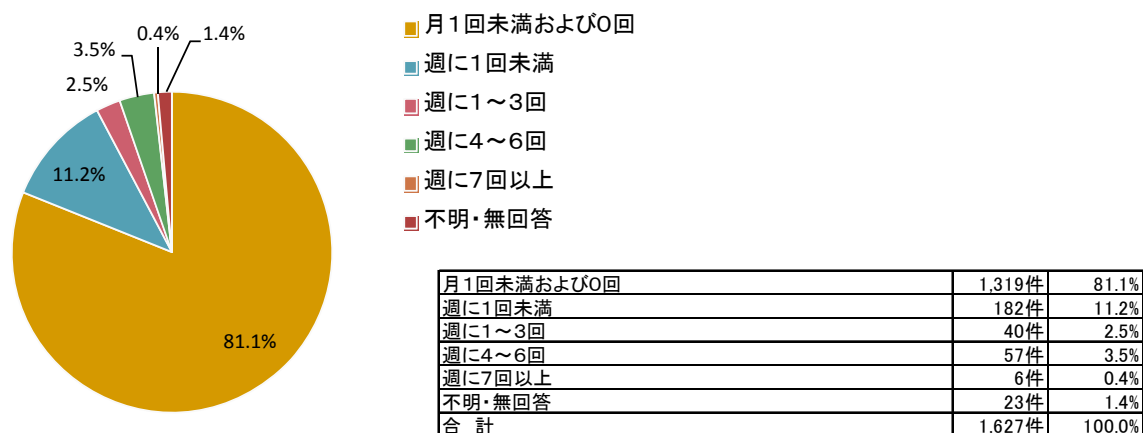
〔結果：地下鉄での外出回数（回答数＝1,627件）〕

- 「月1回未満および0回」が1337件で82.2%と最も多く、次いで「週に1回未満」が205件で12.6%、さらに「週に1～3回」が45件で2.8%と続いています。



〔結果：その他の鉄道での外出回数（回答数＝1,627件）〕

- 「月1回未満および0回」が1319件で81.1%と最も多く、次いで「週に1回未満」が182件で11.2%、さらに「週に4～6回」が57件で3.5%と続いています。



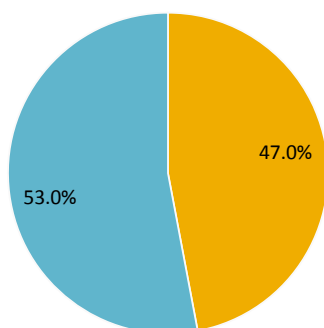
(3) 調査に対する意見

〔設問〕

問3 本調査に対するご感想など、ご自由にご記入ください。

〔結果：記述内容の抜粋〕

- 神鉄の存続に向けた住民へのいい啓発になったのに加え（新聞報道よりも直接的なものとして）より現実味が増したのではないかと。神鉄を利用しようという意識が高まったと思う。
- アンケートが来るたびに「神鉄を利用しよう」という気持ちが強くなっていく。
- 前回アンケート以降、意識して神鉄を利用するようになった。アンケートを書くことにより参加意識ができた。
- 栗生線を利用してもらうためには、みんなを惹きつける何かが栗生線の沿線にあればいい。
- 神鉄沿線のみ、例えばすずらんカードの様なものを出し、割引率を設け、期間設定はなしとするともっと利用が増えるのではないかと。



■ 記入あり ■ 記入なし

記入あり	765件	47.0%
記入なし	862件	53.0%
合 計	1,627件	100.0%

(4) 回答者の属性

①性別、年齢、職業

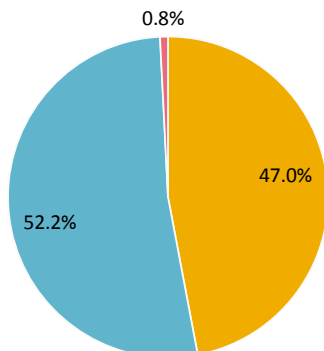
〔設問〕

問4 あなたご自身についてお聞きします。

性別	☐ 男性 ☐ 女性
年齢	☐ 10歳代 ☐ 20歳代 ☐ 30歳代 ☐ 40歳代 ☐ 50歳代 ☐ 60歳代 ☐ 70歳以上

〔結果：性別（回答数＝1,627件）〕

- 「女性」が849件で52.2%、「男性」が765件で47.0%となっています。

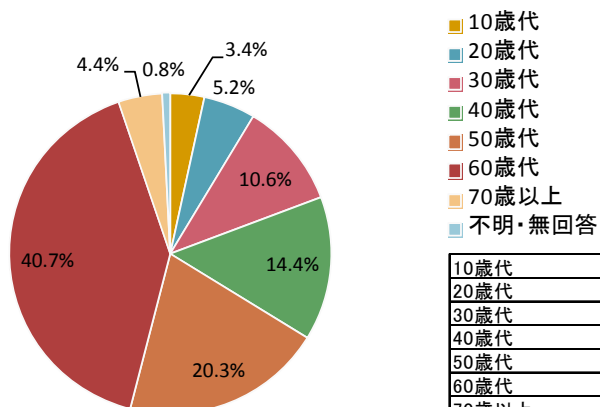


■ 男性 ■ 女性 ■ 不明・無回答

男性	765件	47.0%
女性	849件	52.2%
不明・無回答	13件	0.8%
合 計	1,627件	100.0%

〔結果：年齢（回答数＝1,627 件）〕

- 「60 歳代」が 663 件で 40.7%と最も多く、次いで「50 歳代」が 330 件で 20.3%、「40 歳代」が 235 件で 14.4%と続いています。



10歳代	56件	3.4%
20歳代	85件	5.2%
30歳代	173件	10.6%
40歳代	235件	14.4%
50歳代	330件	20.3%
60歳代	663件	40.7%
70歳以上	72件	4.4%
不明・無回答	13件	0.8%
合 計	1,627件	100.0%

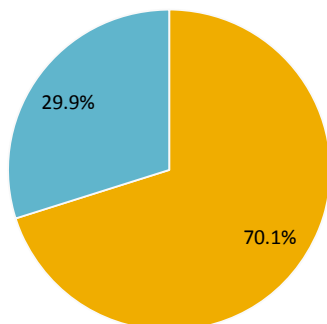
（５）今後の協力意向

〔設問〕

問5 今後も引き続き、アンケート等にご協力いただける場合は住所・氏名・メールアドレスをご記入ください。

〔結果：（回答数＝1,627 件）〕

- 「記名（協力できる）」が 1141 件で 70.1%となっています。



■ 記名 ■ 無記名

記名	1,141件	70.1%
無記名	486件	29.9%
合 計	1,627件	100.0%

(4) 分析結果

ア 住民を対象とした TFP による栗生線純増回数の推計

(ア) 分析対象

分析対象としたデータは効果検証アンケートにおいて、栗生線利用の増加回数の記入があった 427 サンプルである。

A	効果検証アンケートにおいて「栗生線の利用」が「増えたと思う」と回答したサンプル	508 件
B	A の内、「増加回数」の記入があったサンプル	427 件

(イ) データの補正

分析にあたり、以下の補正を行った。

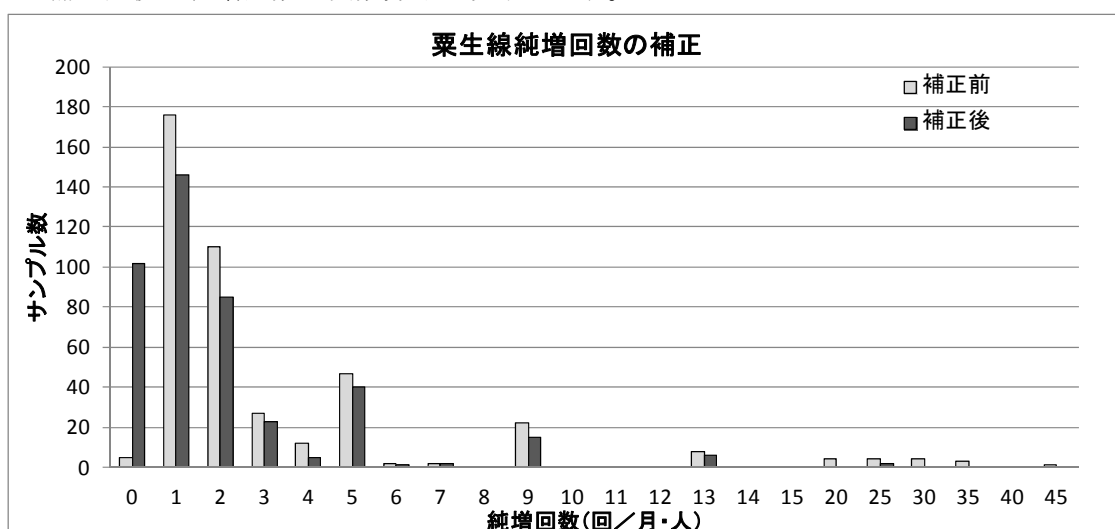
「栗生線の利用」が「増えたと思う」と回答しているものの、事前事後の栗生線利用回数の差が「減っている」90 サンプルについては、「純増回数」を「0」とみなす。

例)	増加回数の自己申告値	事前	事後	⇒	純増回数
	週 1 回	週 5 回	週 4 回		0 回

また、「増加回数」が「週 4 回以上」の 16 サンプルについては、「事前事後の差」を「純増回数」とみなす。さらに、このとき、事前事後の栗生線利用回数の差が「減っている」サンプルについては、「純増回数」を「0」とみなす。

例)	増加回数の自己申告値	事前	事後	⇒	純増回数
	週 5 回	週 3 回	週 5 回		週 2 回

補正前後の純増回数の度数分布を以下に示す。



(7) 純増回数の推計結果

a 一人1ヶ月あたりの純増回数

上記の補正を行ったデータに基づき、住民を対象とした TFP による純増回数の平均値を算出した結果、一人1ヶ月あたりの純増回数は **1.99 (回/月・人)** と推計された。

b 年間の純増回数

次に、アンケート結果に基づく粟生線利用増加者数約 400 人(増加回数の記入があった 427 サンプル) 及び、一人1ヶ月あたりの純増回数約 2 回 (1.99 (回/月・人)) を用いて、TFP 対象者全体の年間の純増回数を算出した結果、 **800 (回/月)**、 **9,600 (回/年)** と推計された。

TFP 対象者全体の粟生線純増回数

= 粟生線利用増加者数 × 純増回数

= 400 (人) × 2 (回/月・人)

= 800 (回/月)

イ 粟生線利用回数が増加した層の特性

粟生線の利用回数が増えた層の特性を見るために、「属性」、「意識」、「利用特性」別に粟生線利用回数の変化と純増回数を比較した。

分類	項目	項目
属性	性別	・ 粟生線の利用回数の変化 ・ 粟生線純増回数
	年齢	
	職業	
	居住地	
	最寄り駅	
意識	事前の利用意向	
	事後の利用意向	
	粟生線の必要性	
利用特性	事前の粟生線利用頻度	
	利用目的	
	企画きっぷの利用	

(7) 属性別

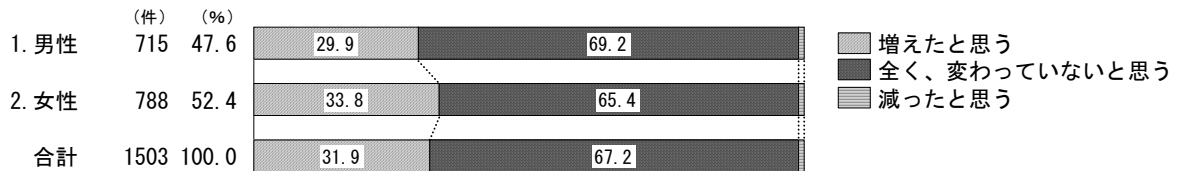
a 性別

男女別に純増回数に顕著な差は見られない。

(a) 利用回数の変化

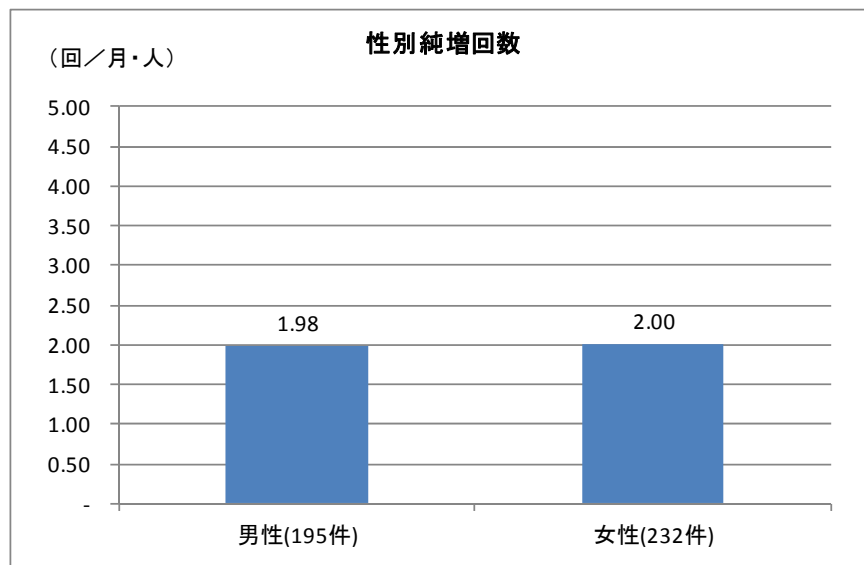
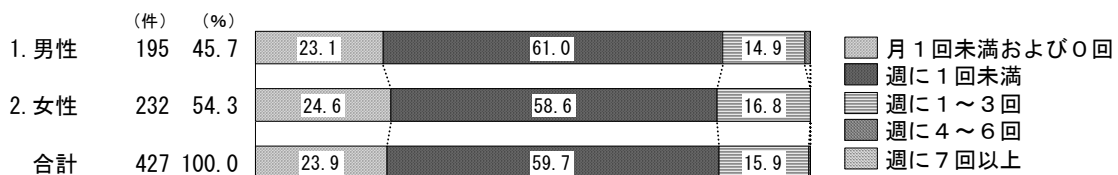
属性 性別
× Q1-3)

実際に、あなたご自身の「粟生線の利用」が、少しでも増えた、と思いますか？



(b) 純増回数

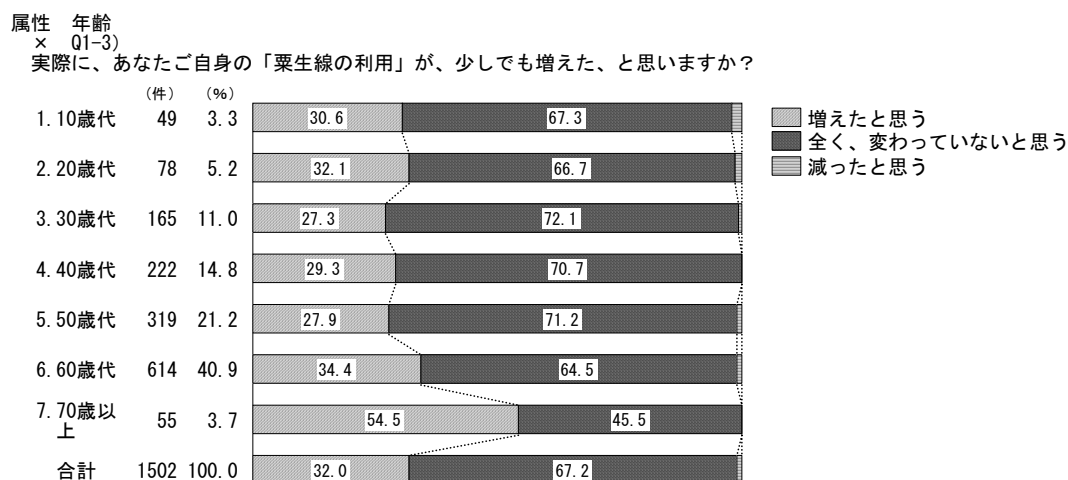
属性 性別 × Q1-3) 副問 増えかた→どのくらい増えましたか？



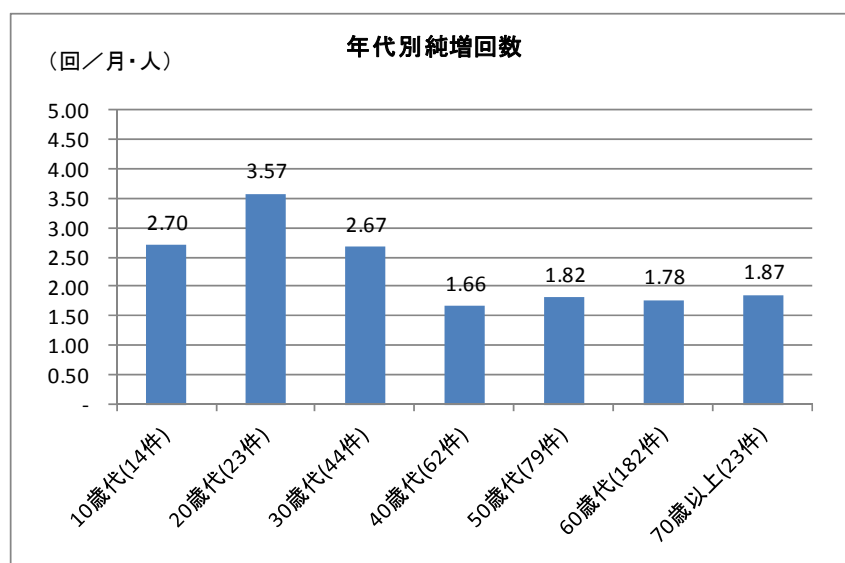
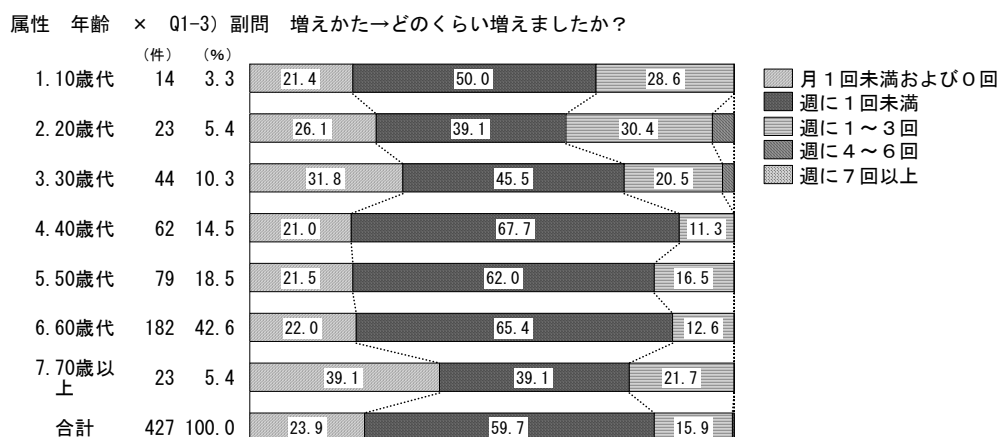
b 年齢

10～30歳代の若年層の効果が比較的高い。

(a) 利用回数の変化



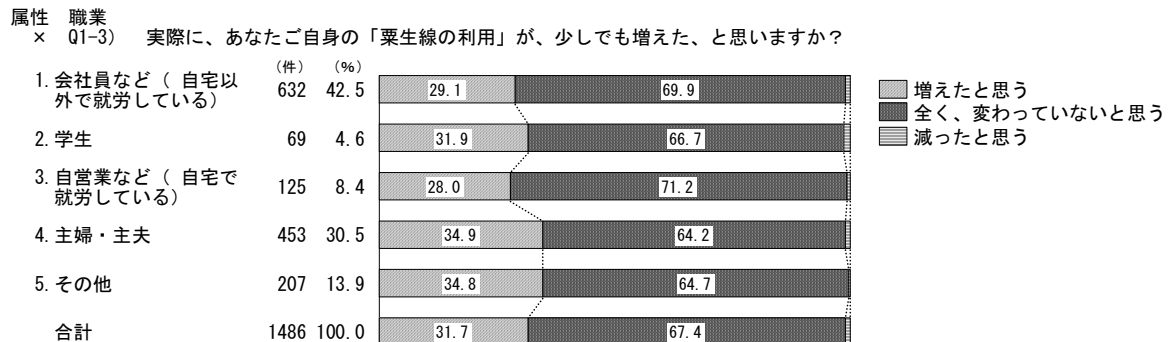
(b) 純増回数



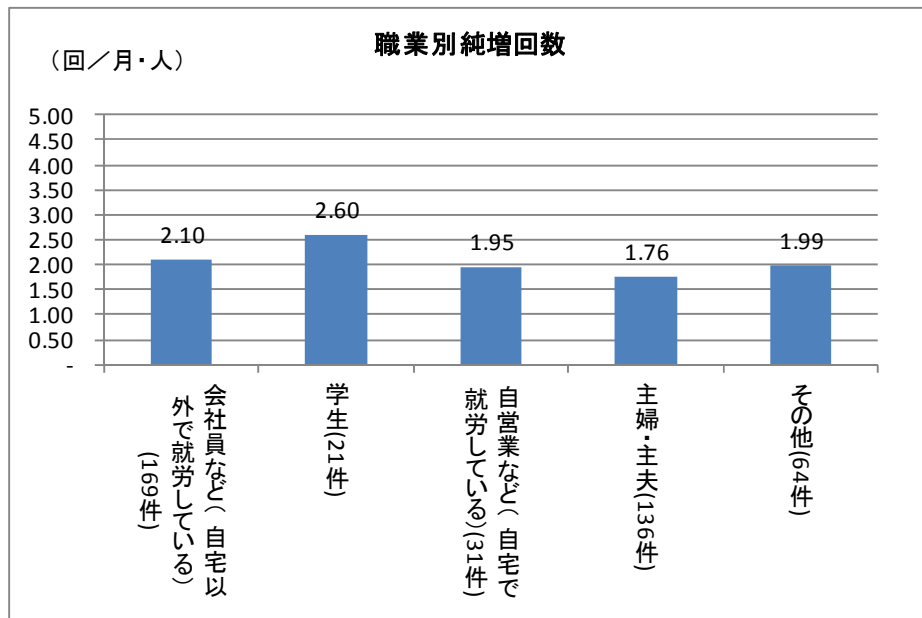
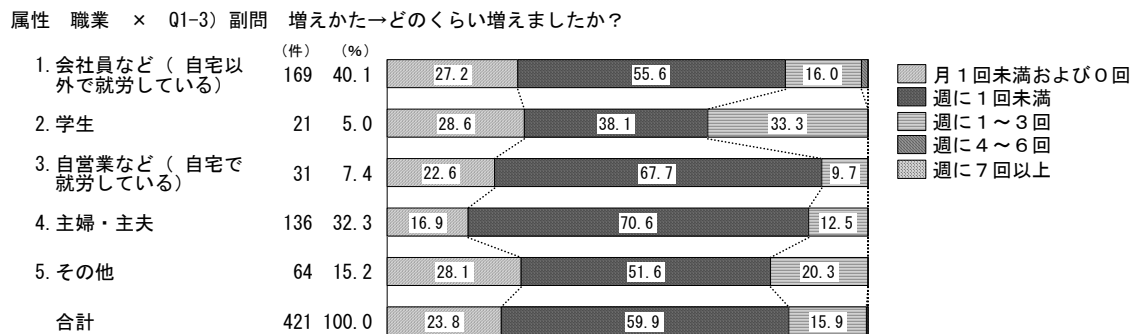
c 職業

学生の効果が比較的高い。

(a) 利用回数の変化



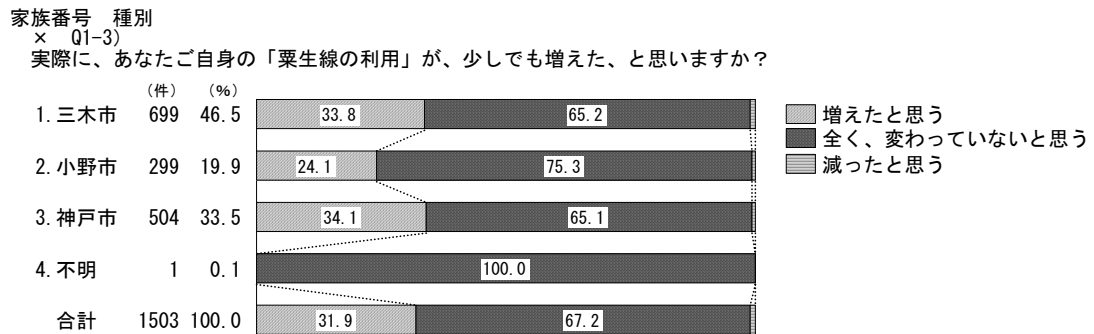
(b) 純増回数



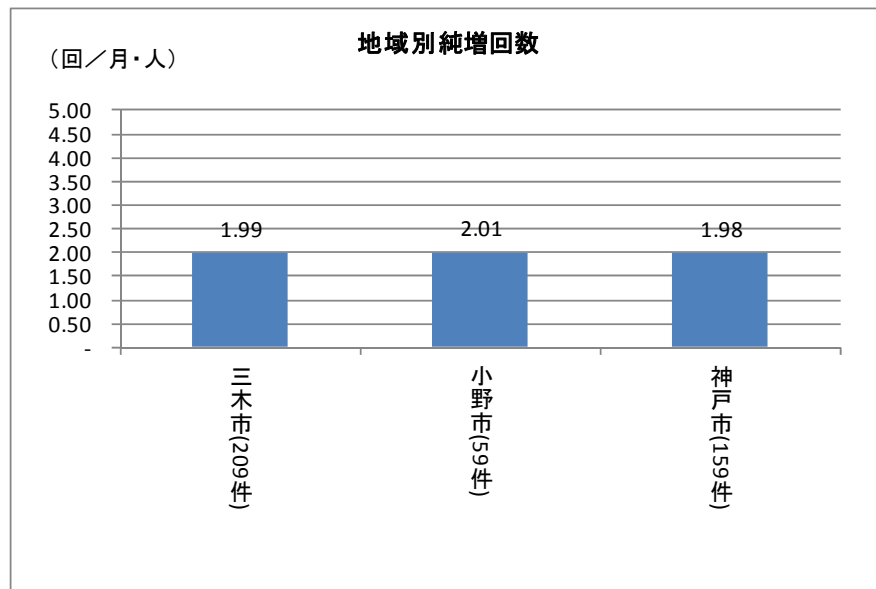
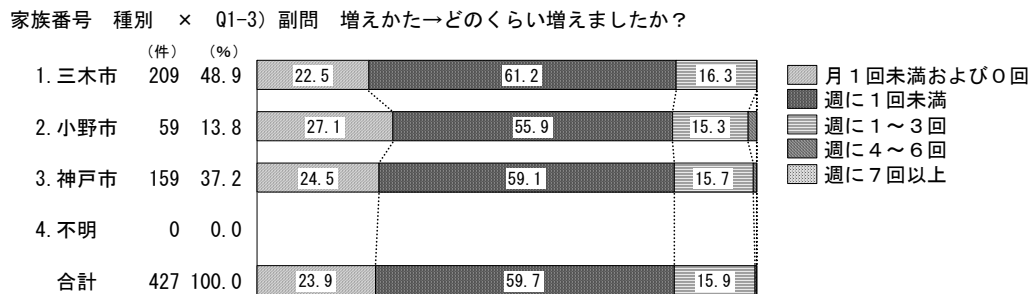
d 居住地別

3市別の純増回数に顕著な差は見られない。

(a) 利用回数の変化



(b) 純増回数



e 最寄り駅別

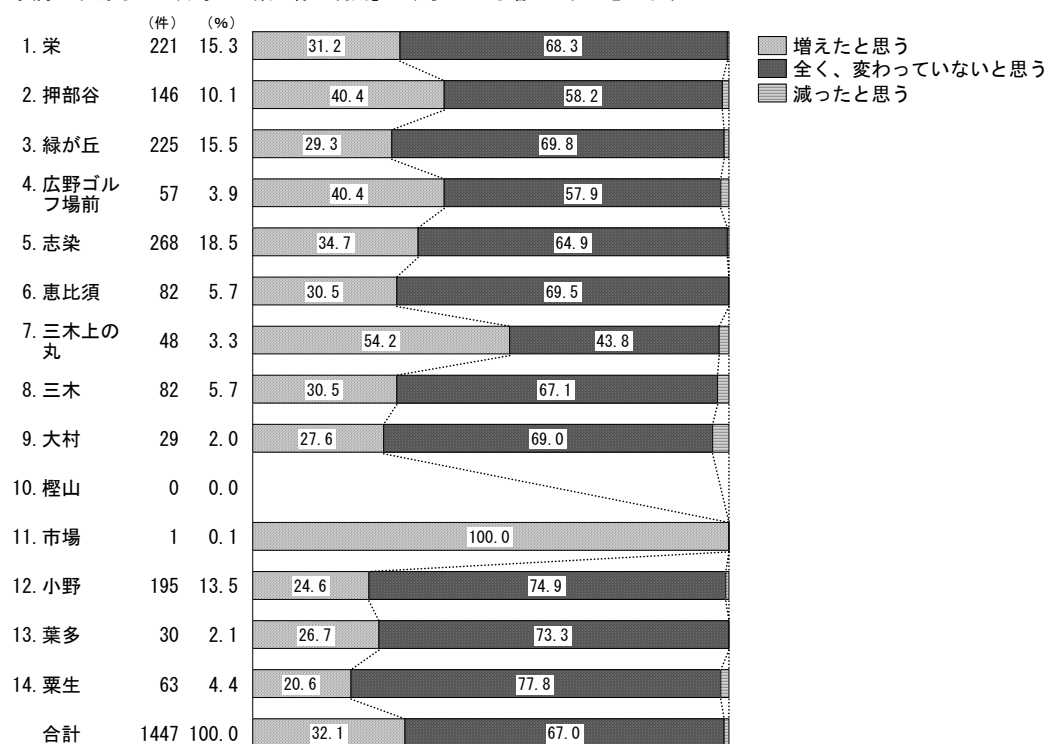
増加者が多いのは「三木上の丸駅」付近の居住者であり、増加回数が多いのは「恵比須駅」、「小野駅」付近の居住者である。

(a) 利用回数の変化

Q1-2 (副) ご自宅の最寄りの神戸電鉄粟生線の駅名

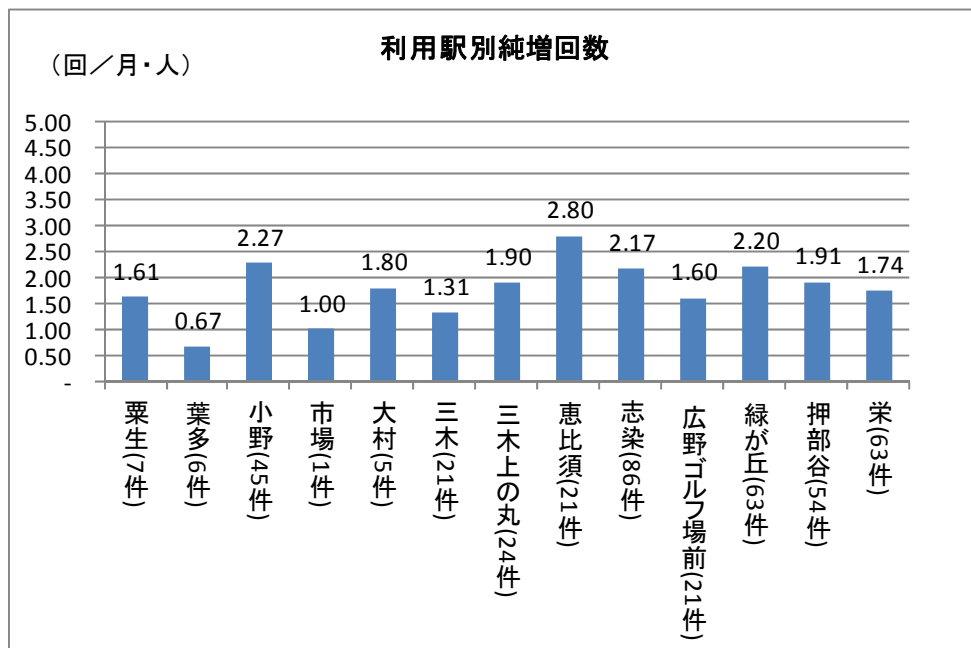
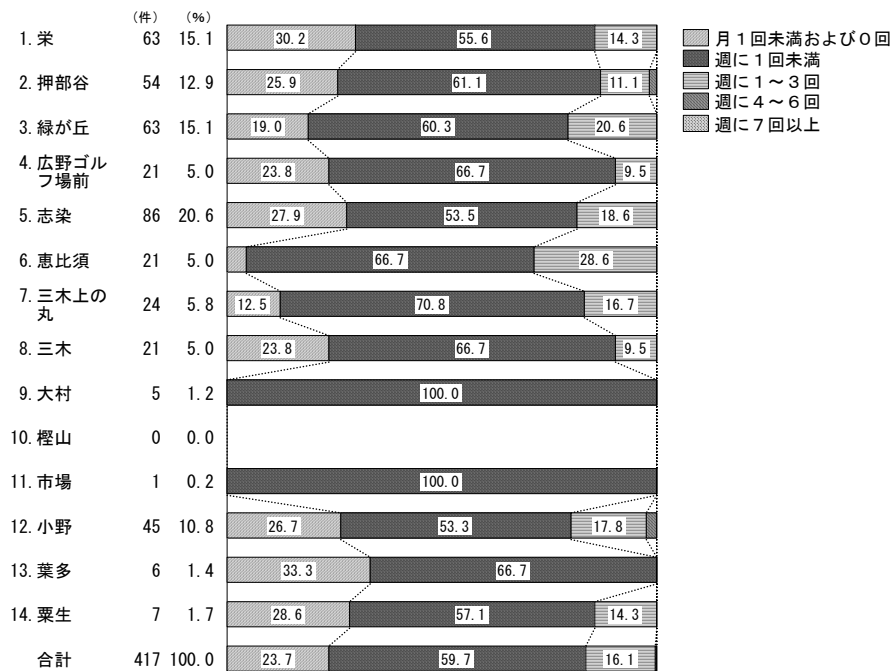
× Q1-3)

実際に、あなたご自身の「粟生線の利用」が、少しでも増えた、と思いますか？



(b) 純増回数

Q1-2 (副) ご自宅の最寄りの神戸電鉄粟生線の駅名
 × Q1-3) 副問 増えかた→どのくらい増えましたか？



(i) 意識と純増回数

a 事前の利用意向

サンプル数が6件と少ない「絶対にそう思わない」層を除くと、事前の利用意向が高い層は効果が高い。

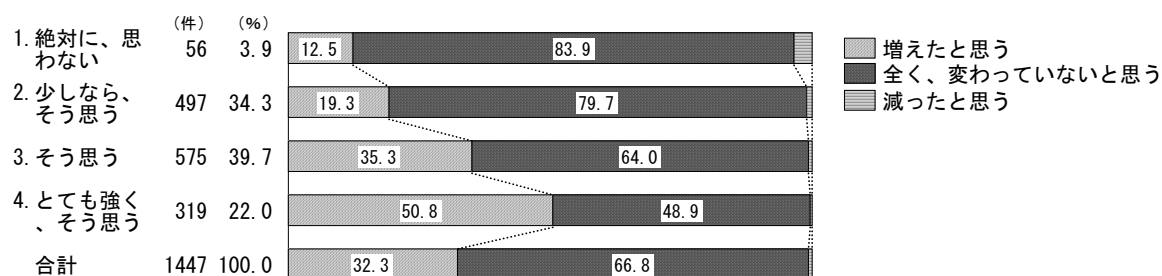
(a) 利用回数の変化

Q2-2

少し無理をしても、「栗生線」を今よりも利用してみるのもいいかもしれないと思いますか？

× Q1-3)

実際に、あなたご自身の「栗生線の利用」が、少しでも増えた、と思いますか？

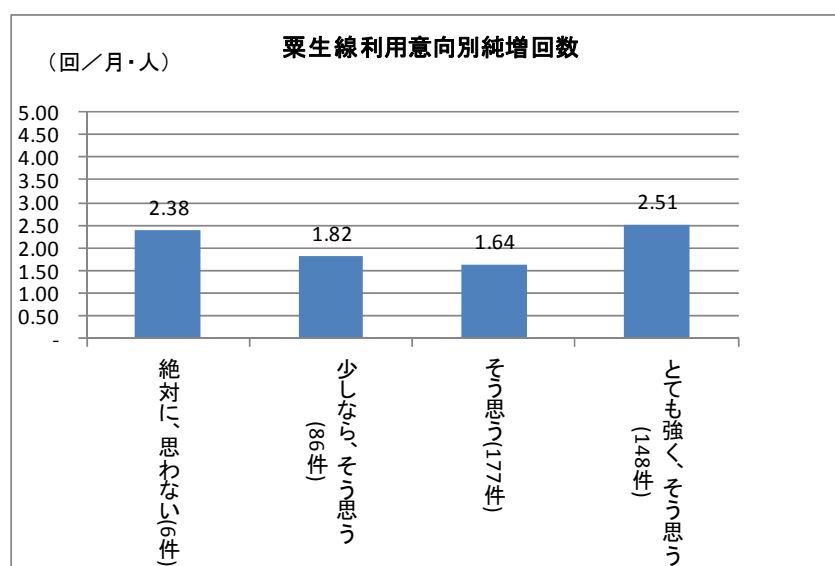
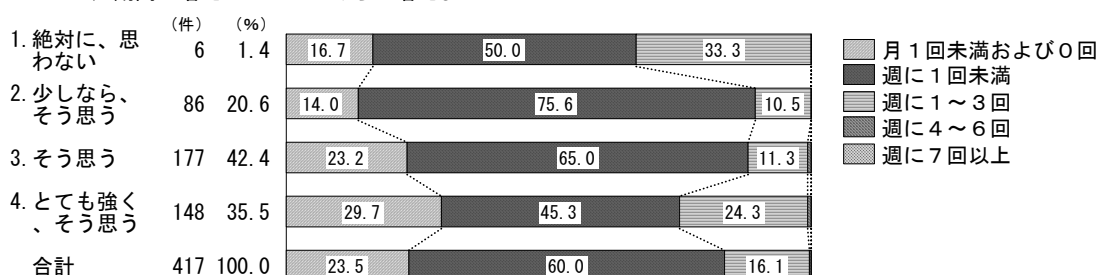


(b) 純増回数

Q2-2

少し無理をしても、「栗生線」を今よりも利用してみるのもいいかもしれないと思いますか？

× Q1-3) 副問 増えかた→どのくらい増えましたか？



b 事後の利用意向

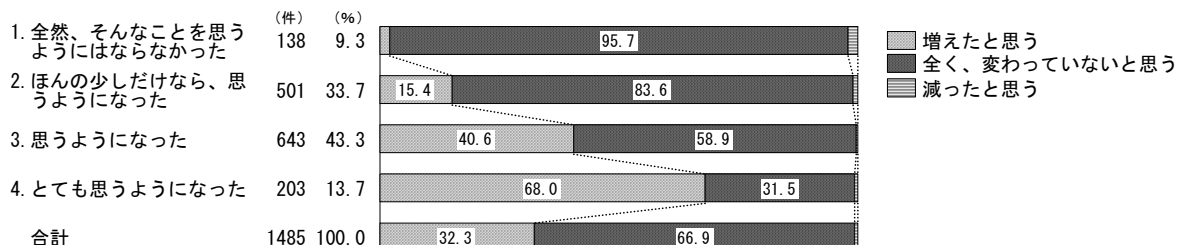
事後の利用意向が高い層は効果が高い。

(a) 利用回数の変化

Q1-2)

前回のアンケートにお答え頂いた後、できるだけ、粟生線を利用してお出かけしよう、と思いましたか？

× Q1-3) 実際に、あなたご自身の「粟生線の利用」が、少しでも増えた、と思いますか？

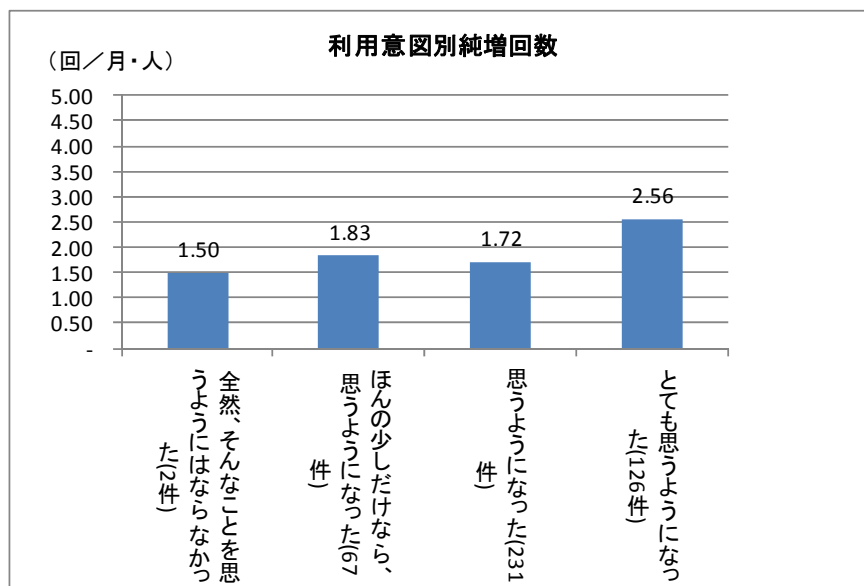
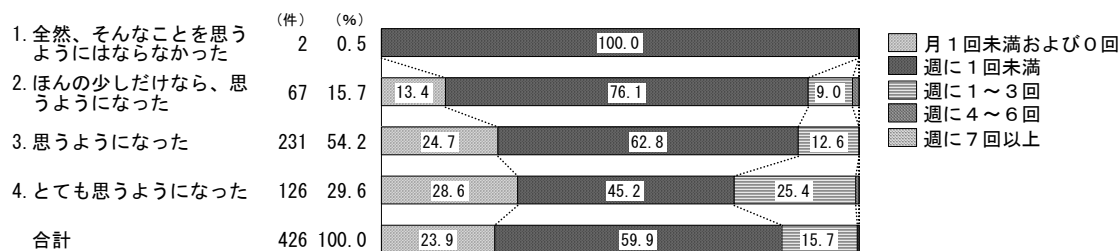


(b) 純増回数

Q1-2)

前回のアンケートにお答え頂いた後、できるだけ、粟生線を利用してお出かけしよう、と思いましたか？

× Q1-3) 副問 増えかた→どのくらい増えましたか？



(7) 粟生線の必要性

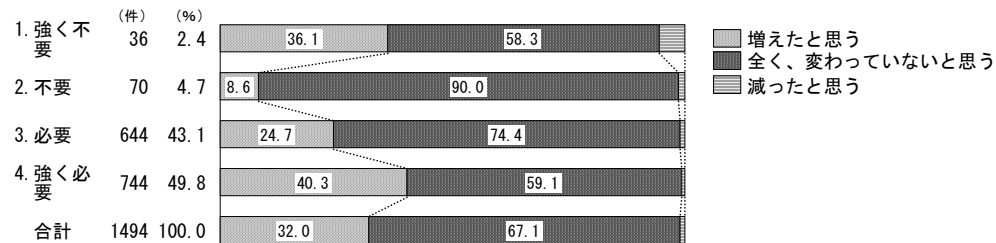
粟生線の必要性を強く感じている層の効果は高い。

(a) 利用回数の変化

Q2-1③ あなた自身は、「粟生線」が必要だと思いますか？

× Q1-3)

実際に、あなたご自身の「粟生線の利用」が、少しでも増えた、と思いますか？

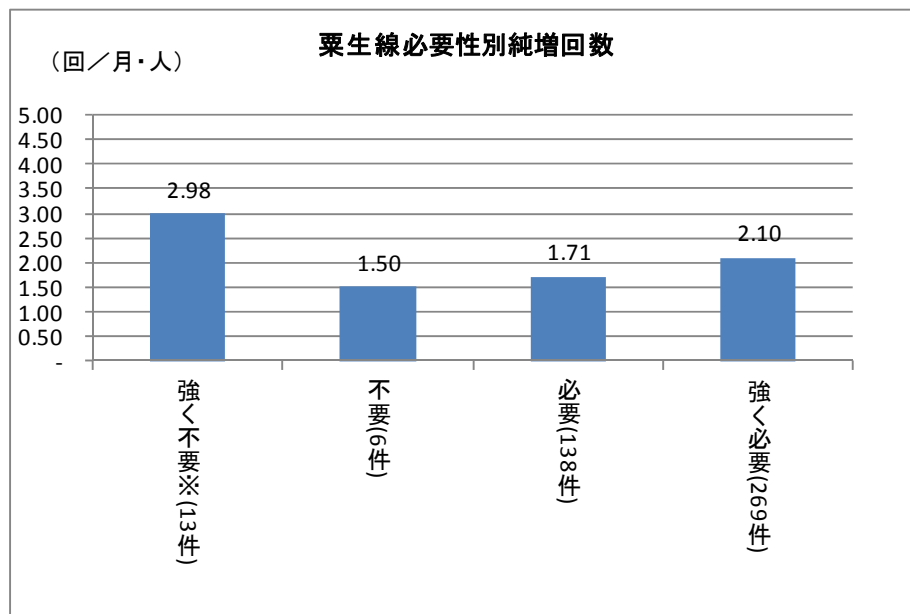
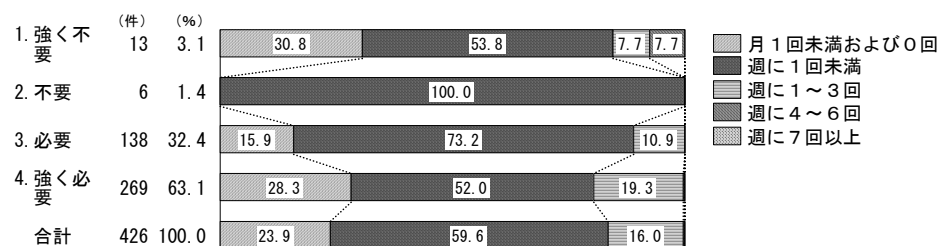


(b) 純増回数

Q2-1③ あなた自身は、「粟生線」が必要だと思いますか？

× Q1-3) 副問

増えかた→どのくらい増えましたか？



※21.50 回増の1サンプルが影響

(エ) 利用特性と純増回数

a 事前の粟生線利用頻度

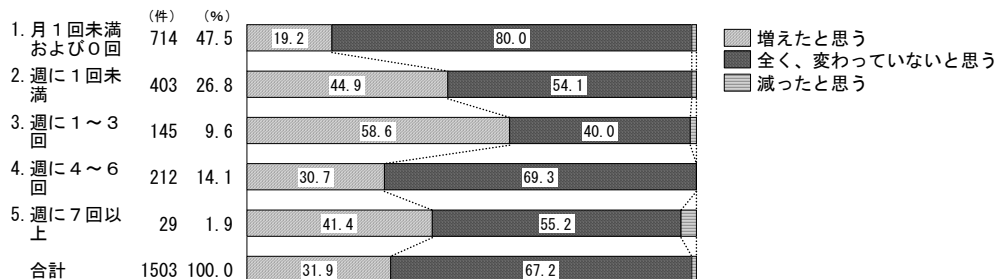
週に1～3回粟生線を利用している層の効果が高い。

(a) 利用回数の変化

Q2③ 【事前】それぞれの交通手段をどのくらい使っていますか？(神鉄)

× Q1-3)

実際に、あなたご自身の「粟生線の利用」が、少しでも増えた、と思いますか？

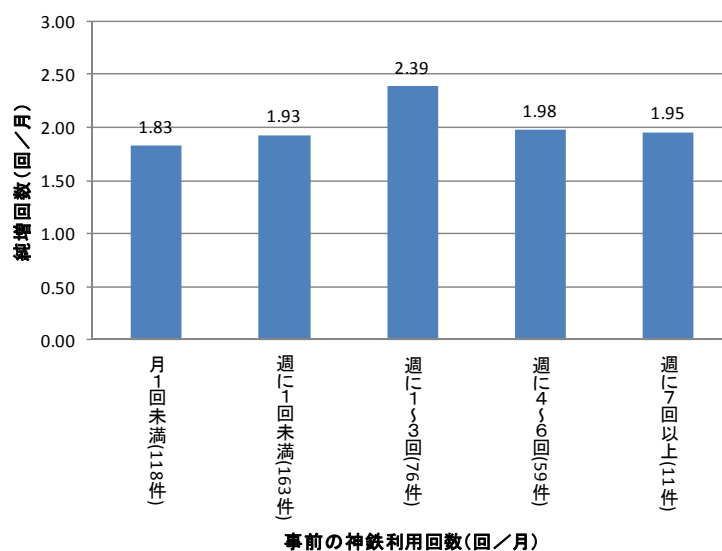
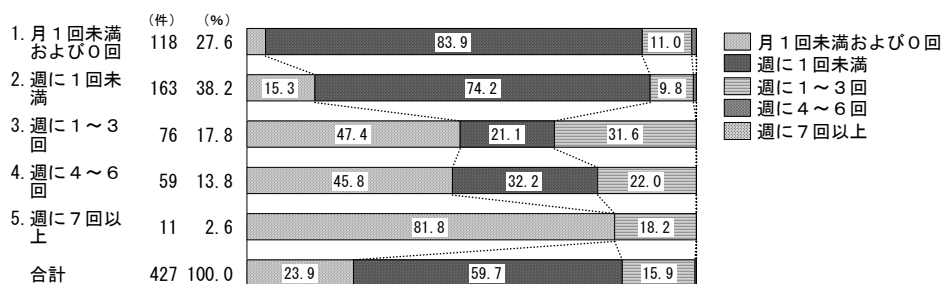


(b) 純増回数

Q2③ 【事前】それぞれの交通手段をどのくらい使っていますか？(神鉄)

× Q1-3) 副問

増えかた→どのくらい増えましたか？

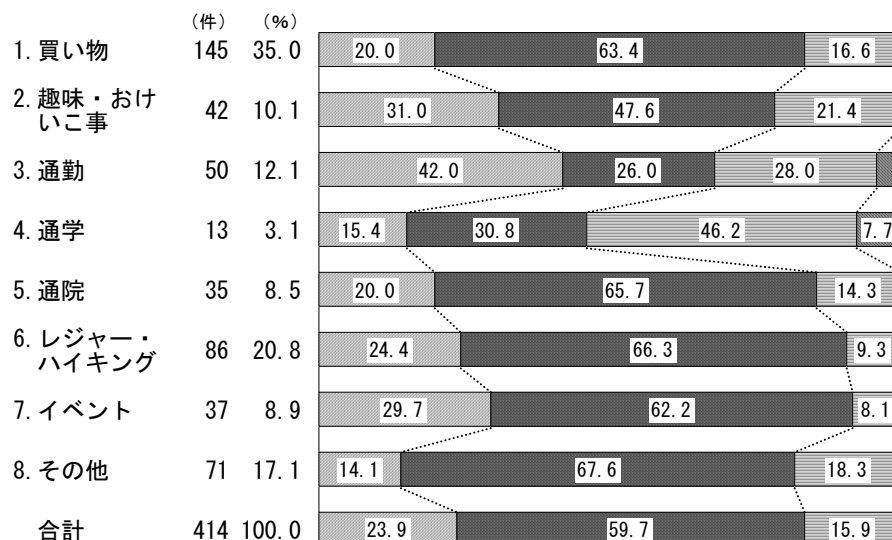


b 利用目的

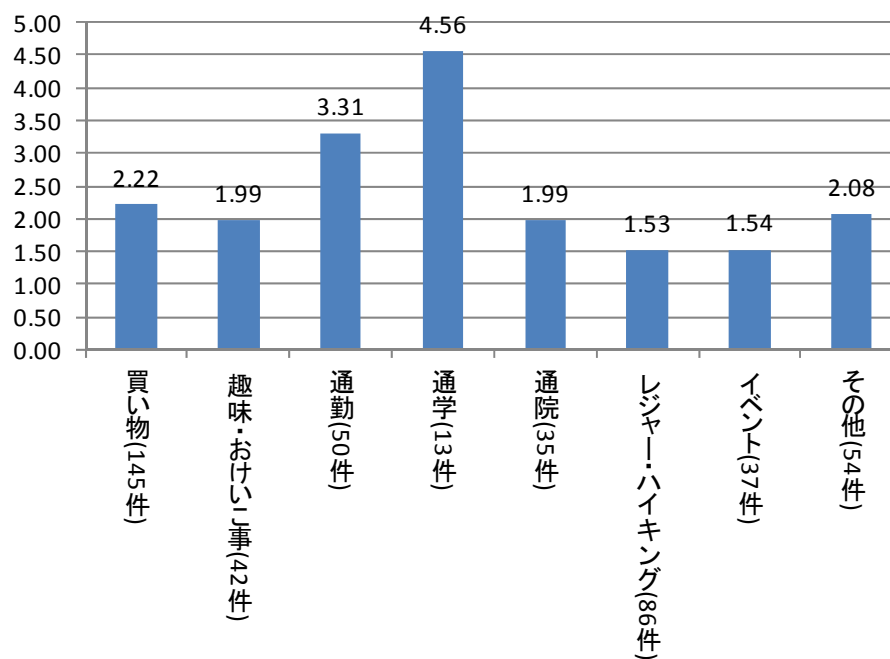
定期利用が想定される通勤・通学における効果が高い。

(a) 純増回数

Q1-3) ① 「粟生線の利用」が増えた、と思う主な利用目的は何ですか？
× Q1-3) 副問 増えかた→どのくらい増えましたか？



■ 月1回未満および0回
 ■ 週に1回未満
 ■ 週に1～3回
 ■ 週に4～6回
 ■ 週に7回以上



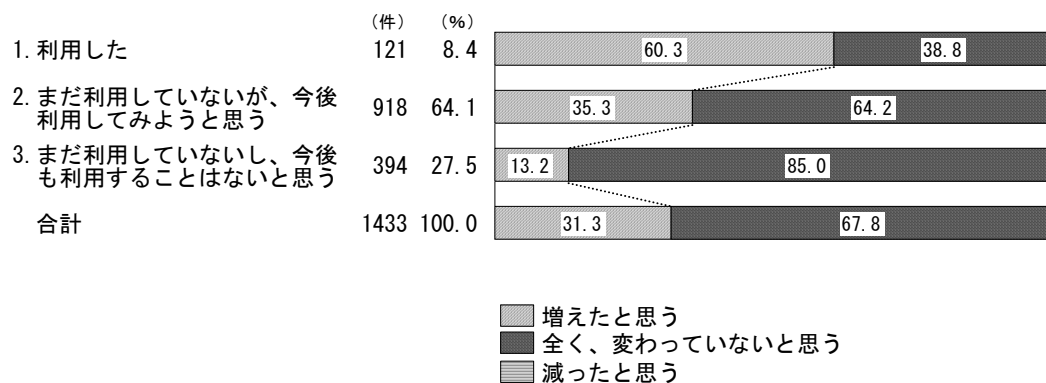
純増回数の平均値(回/月)

(ウ) 企画きっぷの利用

企画きっぷを利用した層の効果は高い。

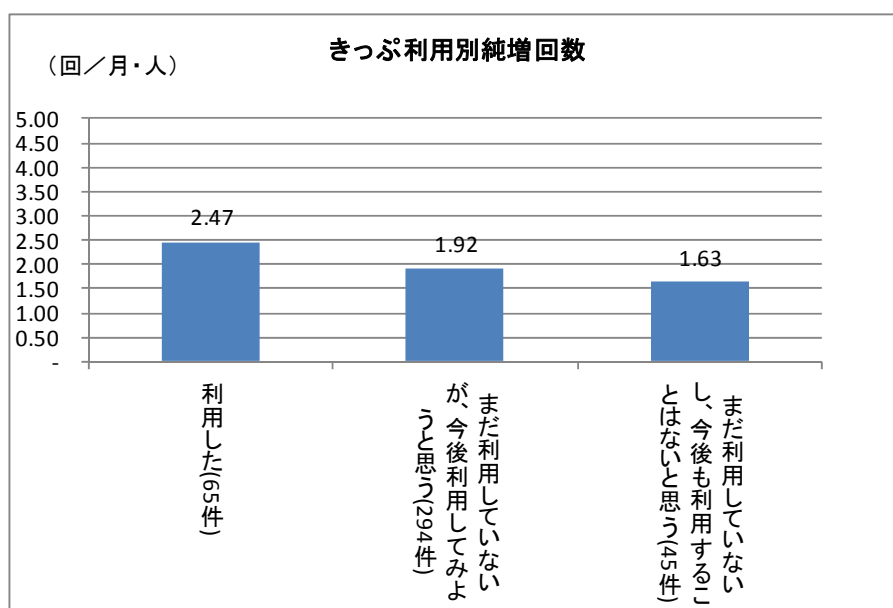
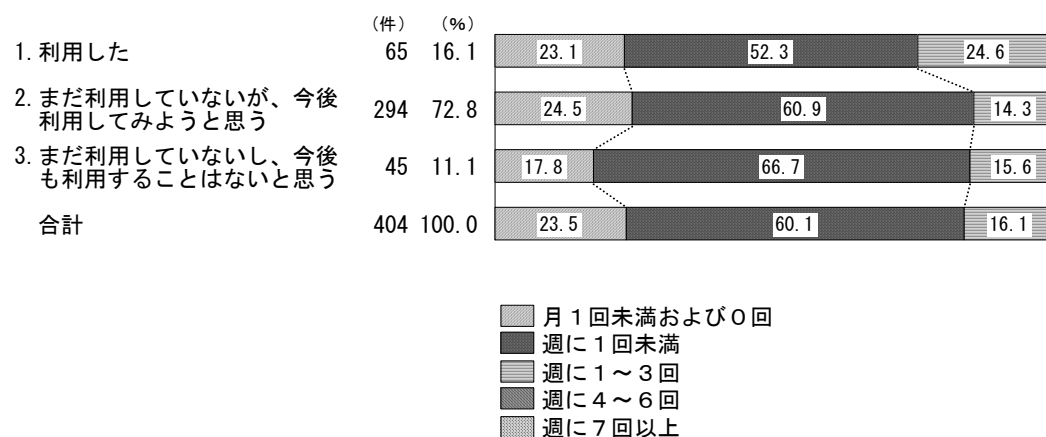
(a) 利用回数の変化

Q1-4) 前回アンケートにお答え頂いた後、休日のおでかけにお得なきっぷを利用しましたか？
 × Q1-3) 実際に、あなたご自身の「粟生線の利用」が、少しでも増えた、と思いますか？



(b) 純増回数

Q1-4) 前回アンケートにお答え頂いた後、休日のおでかけにお得なきっぷを利用しましたか？
 × Q1-3) 副問 増えかた→どのくらい増えましたか？

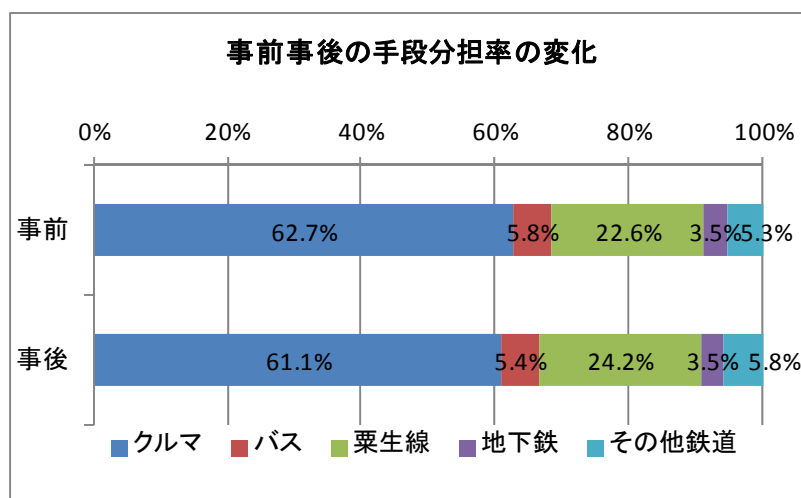


以上より、栗生線の利用回数が増えた層の特性をまとめると以下のとおりである。

分類	項目	項目	
属性	性別	・栗生線の利用回数の変化 ・栗生線純増回数	顕著な差は見られない
	年齢		若年層の効果が高い
	職業		学生の効果が高い
	居住地		顕著な差は見られない
	最寄り駅		恵比須駅、小野駅利用者が比較的高い
意識	事前の利用意向		意向が高い層は効果が高い
	事後の利用意向		意向が高い層は効果が高い
	栗生線の必要性		必要性が高い層は効果が高い
利用特性	事前の栗生線利用頻度		週1～3回利用者の効果が高い
	利用目的		通勤・通学目的の効果が高い
	企画きっぷの利用		企画きっぷ利用者は効果が高い

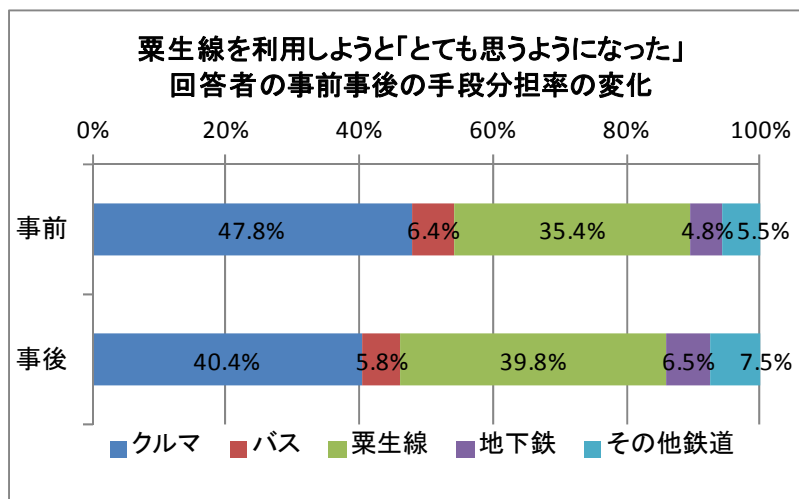
ウ 事前事後の交通行動の変化

事前事後で回答者が同一人物と特定できたサンプルについて、事前事後の各交通手段別の利用回数を集計した。そして、季節変動による事前事後の外出回数の変化を考慮するため、手段別の平均利用回数の合計に占める各手段の平均利用回数を分担率として事前事後の変化を集計した。その結果、クルマで外出する割合が1.6%減少し、栗生線で外出する割合が1.6%増加していることが示された。



※手段分担率＝手段別平均利用回数÷手段計平均利用回数×100

アンケート回答後の粟生線の利用意向別に事前事後の各交通手段別の利用回数を集計した。その結果、できるだけ粟生線を利用しておでかけしようとして「とても思うようになった」と回答した層は粟生線の分担率が4.4%増加している。



※手段分担率＝手段別平均利用回数÷手段計平均利用回数×100

アンケート後の粟生線利用意向		区分	平均値 (回/月・人)	分担率	サンプル数
全然、そんなことを思うようにはならなかった	クルマ	事前	16.72	67.8%	136
		事後	17.78	74.6%	136
	バス	事前	1.46	5.9%	136
		事後	1.43	6.0%	136
	粟生線	事前	5.01	20.3%	136
		事後	3.00	12.6%	136
	地下鉄	事前	0.47	1.9%	136
		事後	0.51	2.1%	136
	その他鉄道	事前	1.01	4.1%	136
		事後	1.12	4.7%	136
ほんの少しだけなら、思うようになった	クルマ	事前	15.64	70.9%	481
		事後	15.57	71.3%	481
	バス	事前	1.36	6.2%	481
		事後	1.21	5.5%	481
	粟生線	事前	3.38	15.3%	481
		事後	3.38	15.5%	481
	地下鉄	事前	0.69	3.1%	481
		事後	0.62	2.8%	481
	その他鉄道	事前	1.00	4.5%	481
		事後	1.07	4.9%	481
思うようになった	クルマ	事前	13.09	60.3%	603
		事後	11.88	57.6%	603
	バス	事前	1.11	5.1%	603
		事後	1.07	5.2%	603
	粟生線	事前	5.31	24.5%	603
		事後	5.79	28.1%	603
	地下鉄	事前	0.85	3.9%	603
		事後	0.71	3.4%	603
	その他鉄道	事前	1.35	6.2%	603
		事後	1.18	5.7%	603
とても思うようになった	クルマ	事前	10.71	47.8%	187
		事後	10.42	40.4%	187
	バス	事前	1.44	6.4%	187
		事後	1.49	5.8%	187
	粟生線	事前	7.93	35.4%	187
		事後	10.25	39.8%	187
	地下鉄	事前	1.08	4.8%	187
		事後	1.67	6.5%	187
	その他鉄道	事前	1.24	5.5%	187
		事後	1.94	7.5%	187

※全手段の利用回数が有効なサンプルのみで集計